

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人東松島市社会福祉協議会

目 次

平成29年度事業報告総括	4
①地域福祉事業拠点区分	5
1. 法人運営事業	5
1. 1 会議開催状況	5
(1) 理事会の開催	5
(2) 評議員会の開催	7
(3) 監査会の開催	7
(4) 支部長会議の開催（於：東松島市コミュニティセンター）	7
(5) 評議員選任・解任委員会の開催	8
(6) 歳末たすけあい募金配分委員会の開催	8
(7) 評議員・役員等研修会	8
1. 2 組織マネジメントの強化	8
(1) 組織マネジメントの強化	8
1. 3 地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施	9
(1) 地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施	9
1. 4 会員・会費	9
(1) 賛助・特別会員の加入促進（社会福祉協議会会員加入状況）	9
1. 5 その他	9
(1) 顕彰関係	9
(2) 寄附金品の受納状況	10
2. 地域福祉推進事業	10
(1) 地域住民の交流機会の促進	10
(2) 東松島市地域福祉推進計画の推進（市との共同事業）	12
(3) 地域福祉ネットワーク推進事業の実施	12
(4) 福祉のまちづくり支援事業の実施（助成事業実績）	13
(5) 自治協議会（福祉部会）や市民センターとの連携の推進	13
(6) ふれあいのつどい事業	13
(7) ノーマライゼーション普及事業の実施（夏休みのつどい事業・教育委員会と共催）	14
(8) 特別支援学級への学用品等支給事業	14
(9) 子ども・若者の居場所づくり支援事業	14
(10) 東松島市民生委員児童委員協議会（事務事業の一部）の支援	15
(11) 各種福祉団体の事務支援	15
(12) 情報発信の推進	16
(13) 他社協、社福法人との連携強化	16
(14) 東松島ふくしネットワーク事業の実施	16
(15) 災害時生活支援体制の整備	17
3. 生活支援体制整備事業（東松島市受託事業）	17
4. いきいきほっとサロン事業（東松島市受託事業「地域介護予防活動支援事業」）	18
(1) いきいきほっとサロン事業	18

5. 共同募金事業（共同募金配分金による事業）	19
（1）ボランティア登録団体助成事業の実施	19
（2）総合的学習支援事業の実施	19
（3）平成28年度事務費繰越配分	20
（4）平成28年度東日本大震災復興支援特別配分	20
（5）平成28年度市町村募金按分処理に係る配分事業	20
（6）歳末たすけあい配分事業	20
（7）赤い羽根共同募金事業	21
6. ボランティアセンター事業	21
（1）地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり	21
（2）ボランティア・市民活動センター機能の充実	21
（3）ボランティアシンポジウムの開催	22
7. 老人福祉センター運営事業	23
（1）東松島市老人福祉センターの指定管理（東松島市指定管理事業）	23
（2）老人福祉センター自主事業（いったりかたりサロン事業）	24
8. 高齢者生活支援事業（福祉有償運送事業）	25
（1）外出支援移送サービスの実施（東松島市受託事業）	25
②総合相談事業拠点区分	26
1. 生活困窮者自立促進支援事業	26
（1）自立相談支援事業・家計相談支援事業（東松島市受託事業）	26
（2）生活用品等支援事業（緊急を要する援護者への物品給付）の実施（自主事業）	34
（3）火災見舞金支給事業の実施（自主事業）	35
2. 生活福祉資金貸付事業	35
（1）生活福祉資金貸付事業の実施（宮城県社会福祉協議会受託事業）	35
3. 生活安定資金貸付事業	35
（1）生活安定資金貸付事業の実施	35
（2）一時援護資金貸付事業の実施	35
4. 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）	35
（1）日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）の実施（宮城県社会福祉協議会受託事業）	35
③在宅介護事業拠点区分	36
1. 訪問介護事業（介護保険）	36
（1）訪問介護事業（介護保険サービス・障害福祉サービス）の実施	36
2. 居宅介護支援事業	36
（1）居宅介護支援事業の実施	36
3. 福祉用具貸与事業	37

④被災者支援事業拠点区分	38
1. 被災者サポートセンター運営事業（東松島市受託事業）	38
(1) 寄り添い型被災者生活支援の実施	38
(2) 地域交流サロンの運営支援（お茶会・サロン）	40
(3) こころと体のケア事業（業務委託）	41
(4) 復興福祉のまちづくり事業	42
(5) 地域交流促進事業	43
(6) いきいきゆったり交流事業	43
(7) 高校生ボランティア創出事業	43
(8) 仮設住宅地域コミュニティ復興支援事業	44
(9) 被災者法律相談強化事業	44
(10) 復興支援ボランティア団体情報共有化事業	45
(11) 復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣	45
(12) 先進地視察研修	46
(13) その他	46
⑤地域包括支援センター事業拠点区分	48
1. 地域包括支援センター事業（東松島市受託事業）	48
〔介護予防事業〕	48
(1) 介護予防ケアマネジメント業務	48
(2) 総合相談支援業務	48
(3) 権利擁護業務	49
(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務	49
(5) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	50
〔介護予防事業及び任意事業〕	50
(1) 住宅改修相談業務 23 件	50
(2) 福祉用具購入相談業務 9 件	50
(3) サービスの利用申請手続きの代行業務 随時対応	50
(4) 地域介護予防活動支援業務	50
〔指定介護予防支援〕	53
(1) 予防給付に関するケアマネジメント業務	53
(2) 指定介護予防支援業務の委託	53
〔認知症対策事業〕	53
(1) 東松島市キャラバン・メイト協議会の支援	53
(2) 認知症サポーター養成事業	54
(3) 認知症家族の情報交換会	55
(4) 認知症専門相談会	55
(5) 東松島市高齢者 SOS ネットワーク	55
(6) 認知症はじめて教室	55
(7) 若年性認知症を抱える人とその家族のつどい「ほっとする会」	56
(8) 認知症カフェ	56
(9) 物忘れ予防教室	57
(10) 介護家族教室	57

平成29年度事業報告

〔総 括〕

平成29年度は、東日本大震災から7年が経過しました。生活に密着したインフラの整備や住まいの再建が一層進展する中、本年度も引き続き、被災者の心身のケアや新しいコミュニティの形成の支援など、生活再建のフェーズに応じて、被災者に寄り添いながら「心の復興」を目指した支援に取り組んできました。また、被災者支援で培った経験を社協本来の使命である「地域福祉」の推進に活かすべく、生活支援体制整備事業等の住民同士の支え合いの体制づくりを通じて、「被災者支援から地域福祉へ」と事業の転換を図ってきました。

重点事業の取組概況は、以下の通りです。

（地域の福祉推進基盤づくりの推進）

東松島市から新たに生活支援体制整備事業を受託し、市内全域を対象とした「生活支援コーディネーター」の配置と「東松島市地域支え合い推進委員会（第1層協議体）」の設置を行い、地域住民や多様な団体等が主体的に地域課題について話し合う仕組みづくりに取り組みました。また、市内8カ所の自治協議会エリアを対象とした「第2層協議体」の構築に向け、改正介護保険制度や住民主体の地域づくりの必要性等の研修会を開催し、住民理解の促進に努めました。さらに、赤井地区自治協議会の協力により、第2層協議体構築に向けた自治協議会との連携の在り方や住民主体の地域づくりを展開するための地域情報の掌握に努めることになりました。

生活支援に関する社会資源の「見える化」を推進するため、多様な社会資源の調査を実施し、地域の社会資源リストを作成しました。さらに新たな生活支援サービスの創設に向けて、先行事例の調査・研究に取り組みました。

（社会福祉法人制度改革に向けた着実な対応）

社会福祉法人制度改革への対応として組織マネジメントの強化を図るため、定款施行細則や事務決裁規程等の主要な規程の見直しを行い、前年度に変更した定款の内容に即した具体的な法人運営のルールを定めるとともに、法令遵守に関する方針等を定め、職員への周知を徹底しました。また監査体制の充実を図るため、監事と職員間において、監査マニュアル策定に向けた検討に着手しました。一方、地域における公益的な取組については、内部での検討にとどまり、市内社会福祉法人との連携の仕組みづくりについては、課題を残しました。

（地域包括ケアシステム構築に向けた積極的な関与）

生活支援体制整備事業の推進や認知症対策事業をはじめとした地域包括支援センターにおける様々な事業の実践等を通じて、地域包括ケアシステムの構築に向けた市の取り組みに積極的に関与しました。

①地域福祉事業拠点区分

1. 法人運営事業

1. 1 会議開催状況

(1) 理事会の開催

回数	月 日	内 容	出席者
第1回 臨時	4月1日(土)	議案第1号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会会長の選定について 議案第2号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会副会長の選定について 議案第3号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会常務理事(業務執行理事)の選定について 議案第4号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会事務局長の選定について 議案第5号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の承認について 以上の議案は、原案のとおり可決された	理事 14人 監事 3人
第1回 通常	6月8日(木)	議案第1号 平成28年度事業報告及び計算書類等の承認について (監 査 報 告) 議案第2号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会理事・監事選任候補者の推薦について 議案第3号 定時評議員会の招集について 議案第4号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する規程について 議案第5号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程について 以上の議案は、原案のとおり可決された 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況報告 ほか	理事 14人 監事 3人
第2回 臨時	6月23日(金)	議案第6号 会長の選任について 議案第7号 副会長の選任について 議案第8号 常務理事(業務執行理事)の選任について 議案第9号 事務局長の選任について 議案第10号 顧問の選任について 議案第11号 東松島市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について 議案第12号 東松島市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する規程について 議案第13号 東松島市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程について 議案第14号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第15号 東松島市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規程について 議案第16号 東松島市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規程について	理事 14人 監事 3人

		議案第 17 号 東松島市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規程について 以上の議案は、原案のとおり可決された	
第 2 回 通常	11 月 14 日(金)	議案第 18 号 平成 29 年度資金収支第 1 次補正予算について 議案第 19 号 東日本大震災生活復興支援基金の取崩しについて 議案第 20 号 評議員選任・解任委員会の招集及び評議員選任候補者の推薦について 議案第 21 号 平成 29 年度第 1 回臨時評議員会の招集について 議案第 22 号 社会福祉法人更別村社会福祉協議会との災害時等における相互支援活動に関する協定の締結について 議案第 23 号 育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規程について 以上の議案は、原案のとおり可決された 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況報告 ほか	理事 12 人 監事 3 人
第 3 回 通常	3 月 19 日(月)	議案第 24 号 平成 29 年度資金収支第 2 次補正予算について 議案第 25 号 東日本大震災生活復興支援基金の平成 29 年度分取崩しについて 議案第 26 号 平成 30 年度事業計画について 議案第 27 号 平成 30 年度資金収支予算について 議案第 28 号 東日本大震災生活復興支援基金の平成 30 年度分取崩しについて 議案第 29 号 人材基盤強化臨時特例基金の取崩しについて 議案第 30 号 東松島市被災者サポートセンター運營業務委託契約の締結について 議案第 31 号 介護予防・生活支援体制整備事業委託契約の締結について 議案第 32 号 東松島市生活困窮者自立促進支援事業業務委託契約の締結について 議案第 33 号 東松島市東部地域包括支援センター運營業務委託契約の締結について 議案第 34 号 事務局組織規程の一部を改正する規程について 議案第 35 号 東松島市地域包括支援センター設置規程の一部を改正する規程について 議案第 36 号 東松島市社協生活復興支援センター設置規程の一部を改正する規程について 議案第 37 号 事務決裁規程の一部を改正する規程について 議案第 38 号 職員給与規程の一部を改正する規程について 議案第 39 号 平成 29 年度第 2 回臨時評議員会の招集について 以上の議案は、原案のとおり可決された	理事 13 人 監事 3 人

(2) 評議員会の開催

回数	月 日	内 容	出席者
定時	6月23日(金)	議案第1号 平成28年度事業報告及び計算書類等の承認について (監 査 報 告) 議案第2号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会評議員及び役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の制定について 議案第3号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会会員会費規程の一部を改正する規程について 議案第4号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する規程について 議案第5号 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会理事・監事の選任について 以上の議案は、原案のとおり可決された	評議員 16人 監事 2人
第1回 臨時	11月24日(金)	議案第6号 平成29年度資金収支第1次補正予算について 以上の議案は、原案のとおり可決された	評議員 15人 監事 2人
第2回 臨時	3月29日(木)	議案第7号 平成29年度資金収支第2次補正予算について 議案第8号 平成30年度事業計画について 議案第9号 平成30年度資金収支予算について 以上の議案は、原案のとおり可決された	評議員 17人 監事 2人

(3) 監査会の開催

※理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を以下の期日に実施した

回数	月 日	内 容	出席者
第1回	5月10日(水) 5月11日(木)	H.28.4.1～H.29.3.31までの決算監査	会長、監事3人、事務局4人
第2回	7月27日(木)	H.29.4.1～H.29.6.30までの第1四半期監査	会長、監事3人、事務局3人
第3回	10月24日(火)	H.29.7.1～H.29.9.30までの第2四半期監査	会長、監事2人、事務局3人
第4回	1月31日(水)	H.29.10.1～H.29.12.31までの第3四半期監査	会長、監事2人、事務局4人

(4) 支部長会議の開催 (於：東松島市コミュニティセンター)

月 日	内 容
7月20日(木) 10:00～	(1) 平成28年度社会福祉協議会事業報告及び収支決算について (2) 平成29年度社会福祉協議会事業計画及び収支予算について (3) 地域福祉活動の情報提供について (4) 平成29年度社会福祉協議会会費の納入について (5) 福祉のまちづくり支援事業の申請について (6) 地域サロン助成金について

(5) 評議員選任・解任委員会の開催

回数	月 日	内 容	出席者
1 回	11 月 15 日 (水)	(1) 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会評議員の選任について	委員 5 人

(6) 歳末たすけあい募金配分委員会の開催

回数	月 日	内 容	出席者
1 回	12 月 18 日 (月)	(1) 歳末たすけあい募金の配分について (2) その他	8 人

(7) 評議員・役員等研修会

〔開催日〕 12 月 7 日 (木) ～8 日 (金) 山形県東根温泉「のゝか本郷館」

〔内 容〕 テーマ

「地域包括ケアシステム構築をめざした、新しい総合事業と生活支援体制整備事業」

説明者：千葉貴弘（事務局次長兼地域福祉課長）

眞籠孝史（地域福祉課生活支援コーディネーター）

〔参加者〕 本会評議員、理事、監事、職員、東根市社会福祉協議会役職員

1. 2 組織マネジメントの強化

(1) 組織マネジメントの強化

・以下の通り、定款及び諸規程の制定・改正を行った。

	件名	公布年月日	施行年月日
1	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会指定訪問介護事業所(指定介護予防訪問介護事業所)運営規程の一部を改正する規程	平成 29 年 4 月 30 日	平成 28 年 5 月 1 日
2	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会障害福祉訪問介護事業所運営規程	平成 29 年 4 月 30 日	平成 28 年 5 月 1 日
3	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する規程	平成 29 年 6 月 9 日	平成 29 年 6 月 9 日
4	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程	平成 29 年 6 月 9 日	平成 29 年 7 月 1 日
5	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会定款施行細則の一部を改正する規程一部を改正する規程	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日
6	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規程一部を改正する規則	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日
7	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日
8	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 1 日
9	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部を改正する規則	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日
10	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部を改正する規則	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日
11	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会育児・介	平成 29 年 6 月 26 日	平成 29 年 7 月 10 日

	護休業等に関する規則の一部を改正する規則		
12	社会福祉法人東松島市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則	平成 29 年 11 月 15 日	平成 29 年 12 月 1 日
13	事務局組織規程の一部を改正する規程	平成 30 年 3 月 20 日	平成 30 年 4 月 1 日
14	東松島市地域包括支援センター設置規程の一部を改正する規程	平成 30 年 3 月 20 日	平成 30 年 4 月 1 日
15	東松島市社協生活復興支援センター設置規程の一部を改正する規程	平成 30 年 3 月 20 日	平成 30 年 4 月 1 日
16	事務決裁規程の一部を改正する規程	平成 30 年 3 月 20 日	平成 30 年 4 月 1 日
17	職員給与規程の一部を改正する規程	平成 30 年 3 月 20 日	平成 30 年 4 月 1 日

1. 3 地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

(1) 地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

■職員等資格取得経費助成要綱に基づく資格取得の促進

〔目 的〕職務遂行上有用と認められる資格、免許等を取得する職員等に対し、当該資格等の取得に要する費用を助成することにより、職員の資質の向上に役立てることを目的とする。

〔対象となる資格等〕社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、社会福祉主事等

〔資格取得の状況〕社会福祉士受講 1 人

1. 4 会員・会費

(1) 賛助・特別会員の加入促進（社会福祉協議会会員加入状況）

会費の徴収に際しては、7 月に支部長会議を開催し社協支部長の協力を得、戸別集金、区費からの間接納入により、加入促進を図った。また、賛助会員・特別会員についてはダイレクトメール等により企業に加入促進を図った。※昨年度まで、特別会員は 5,000 円だった。

種 類	会 費	29 年度		28 年度		対 比	
		加入数	収納額 (円)	加入数	収納額 (円)	加入数	収納額 (円)
一般会員	1, 200 円	10,647	12,776,100	10,439	12,525,800	208	250,300
賛助会員	3, 000 円	-	116,000	47	141,000	-	△25,000
特別会員	3, 000 円	-	618,000	144	720,000	-	△102,000

1. 5 その他

(1) 顕彰関係

平成 29 年度宮城県社会福祉大会受賞者 (敬称略)

《宮城県社会福祉協議会会長表彰》

- ▶社会福祉協議会役職員功労者 尾形博巳、佐藤充信
- ▶ボランティア功労団体 日本郷土民謡和会、ホットシンガーズ、カルロス&メモリーズ
東松島市精神保健福祉会
- ▶ボランティア功労個人 三浦サイ子、内笹井巳代子、今野アヤ子
- ▶民生委員児童委員功労者 奥田登美子

《宮城県共同募金会会長表彰》

- ▶特別協賛団体 大塩小学校、赤井小学校

《宮城県共同募金会感謝状》

- ▶篤志寄付者 相澤正紘、小池康裕
- ▶篤志団体 東松島ライオンズクラブ、セブンイレブン矢本インター店

▶奉仕功労者 奥田誠志、齋藤信廣、佐々木安栄、齋藤稔、土井啓一
亀山幸一、平地富夫

《宮城県民生委員児童委員協議会会長表彰》

▶民生委員制度創設 100 周年記念特別表彰 齋藤あや子

(2) 寄附金品の受納状況

	件数	内 容
寄 付 金	23 件	総額 944,334 円
震災対応寄付金	6 件	総額 459,062 円
寄付物品	11 件	・車椅子 ・おむつ、パット ・囲碁一式、将棋の駒（新品） ・碁盤一式 ・衣類等生活用品 ・タンス、つい立て ・お手玉 ・ペットボトルカバー ・白杖 ・タオル 等

2. 地域福祉推進事業

(1) 地域住民の交流機会の促進

ア) いきいき百歳体操とサロン活動の推進

地域住民の健康増進や顔の見える関係が促進されるよう、活動拠点の拡充や技術的支援を行った（新規拠点27カ所）。

・百歳体操開催会場一覧表

No.	地区名	サークル名	開催曜日	時間	開催場所
1	下 町	下町べっぴん 百歳体操	火・金	10:00	下町地区センター
2	川 下	川下地区 百歳体操	木	9:30	川下地区センター
3	南新町	にこにこサロン	木	10:00	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会 自治会	火	10:00	小野地区センター
5	あおい 2 丁目	あおい 元気サークル	火	9:30	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区 健康体操	木	9:30	下小松地区センター
7	南三区	なごみ会	木	10:00	南区東地区センター
8	浅 井		火	10:00	浅井地区センター
9	大 溜	あいサロン ぽっぽ	水	10:00	社協中央サポートセンター
10	小野上		火	13:30	小野地区センター

11	上 納	ヘルシーカフェ あがらいん茶屋	金	10:00	上納地区センター
12	里 浜	里浜げんき クラブ	月	10:00	里浜地区センター
13	赤井柳		金⇒木	10:00	てあーて
14	平 岡	はつらつシニア	火	10:00	平岡地区センター
15	往還下	しゃんしゃんと クラブ	火	10:00	小野駅前集会所
16	亀 岡	チーム楽・楽・楽 (ラ・ラ・ラ)	木	10:00	亀岡地区センター
17	小松南	爺・婆まけん隊	月	10:00	小松南地区センター
18	貝 田	よつばの会	火	10:00 (13:00)	大曲地区センター
19	作田浦	作田浦自治会 いきいき百歳体 操の会	月	10:00	矢本東市民センター
20	南 五	105 ピンピン 体操の会	木	10:00	南区西地区センター
21	中 下	中下いきいき ちょっくら会	金	10:00	中下地区センター
22	川 前	川前サルビア会	金	10:00	南区東地区センター
23	三角公園 自治会	いきいき三燦会	水	10:00	上町西地区センター
24	柳 西	柳西区 はまなす会	月	13:30	南区東地区センター
25	室 浜	チーム室浜	木	13:30	室浜地区センター
26	関の内	いきいき長寿会	金	13:00 →10:00	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体 操	金	10:00	二反走集会所
28	南区和幸会	南区和幸会	火	10:00	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘 3丁目	スマイル元気会	水	10:00	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前 里	前里百歳体操	火→月	10:00	前里地区センター
31	東 名	東名あざみの会	木	10:00	東名地区センター
32	大浜台	ほっこり常楽会	金	13:30	大浜地区センター
33	大 塚	かたくり会	火	10:00	大塚地区センター
34	鹿 妻	鹿妻百歳体操	月→金	10:00 →13:00	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな 坂サークル	木	10:00	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘 2丁目	いきいき会	月	10:00	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	火	10:00	四反走地区センター

38	西福田	西福田地区 こまち	金	10:00	西福田下地区センター
39	あおい 3丁目	なごみ百歳体操	金	13:30	あおい三丁目地区センター
40	上町東	カトレア会	金	9:30	上町東地区センター

イ) いきいき百歳体操とサロン活動の推進

・モデル小地域福祉活動助成金事業9団体 合計296,000円

No.	活動名称	地区名	助成金額
1	お茶のみ友の会	宮戸	24,000
2	横沼地区交流の広場	横沼	40,000
3	新道町内会自治会 いきいき百歳体操	新道町内会	40,000
4	105ピンピン体操の会	南西	40,000
5	下町四地区 親睦交流会	下町四	10,000
6	サロン「もみじ会」	大塩全域	22,000
7	お茶会下小松	下小松	40,000
8	南五区行政区お茶っこ会	南西	40,000
9	南三区なごみ会	南川前	40,000

ウ) いきいき百歳体操サポーター養成講座の開催

[開催日]平成29年9月12日(火)、19日(火)、26日(火)

[開催場所]矢本東市民センター

[受講者数]34人

[内 容]市高齢者の状況と介護予防の必要性、百歳体操の効果、運動の基礎知識、
体力測定の実験、いきいき百歳体操の実践、サポーターの役割 等

(2) 東松島市地域福祉推進計画の推進(市との共同事業)

平成27年度に策定した東松島市地域福祉推進計画(3ヵ年計画)について、計画に掲げた事業の進捗状況の確認と評価等を行い、次期計画において継続される問題や新たな課題解決に向けた事業の見直し等の審議のため推進委員会を開催した。

No.	月 日	内 容
1	12月25日(月)	(1) 東松島市地域福祉推進計画の進捗状況について (2) 地域福祉推進ネットワーク会議(地域座談会)の結果報告について (3) 「地域福祉に関するアンケート調査」の実施について (4) 次期計画のスケジュールについて
2	平成30年 2月9日(月)	(1) 地域福祉の現状と課題について (2) 第2期地域福祉推進計画の「理念」、「基本目標」、「施策」について (3) 第1期東松島市地域福祉推進計画の評価について

(3) 地域福祉ネットワーク推進事業の実施

「小地域」を対象とした住民座談会等を開催し、小地域福祉活動への住民理解の促進を図るとともに、住民同士がお互いの活動を知り合い、「顔の見える」関係づくりができるようになるためのきっかけをつくった。※生活支援体制整備事業の「地域別研修会」に再掲。

(4) 福祉のまちづくり支援事業の実施（助成事業実績）

今年度納入した会費の20%の金額を上限として、申請のあった支部(自治会等)に対し、福祉のまちづくり助成金を交付した。

資金使途は、地域福祉の向上を目的とする事業となっている。

事業区分	件数	主な内容	成果等（報告書一部抜粋）
高齢者福祉事業	59 件	・ 地区敬老会・敬老祝い金支給 ・ 老人クラブ助成、支援 ・ 老人健康指導 ・ 一人暮らし高齢者歳末見舞金 ・ いきいき百歳体操 等	・ 民謡愛好会の公演や、ビンゴ、参加者の踊り、カラオケで大いに盛り上がった。 ・ 今後、プログラムの内容がマンネリ化しないように、他の内容も取り入れていきたい。 ・ 地域の仲間と一緒に、自主的に運動を実施し、筋力と体力がついた。また、地域で孤立する事を防止し、楽しい仲間づくりを行えた。
地域交流事業	14 件	・ 藤を観る会、菊見会 ・ 移動お茶っこ会 ・ 高齢者障がい者日帰り研修 ・ 納涼祭・餅つき祭り ・ 夏祭り、秋祭り、芋煮会 等	・ 年々参加者が増える傾向にあり、ようやく震災後に転入された会員がなじみつつある。 ・ 集団移転住民と従来住民の交流の場ができたことが大きな成果であった。今後、より多くの住民に参加してもらえるよう広報活動をしていきたいと思う。
児童福祉事業	5 件	・ 子供会サマーレクリエーション ・ 夏祭り参加児童への助成 ・ 育成会支援事業、助成 等	・ 小学生みんなで陶芸体験やひねりパン作りに参加することにより、いろんな学年の子たちと協力し、自分たちで作り上げるという達成感を体験できたと思う。
環境保全事業	2 件	・ 清掃美化活動 ・ フラワーロードの植栽	・ 清掃日当日は、曇り空で清掃にはよい天候で各人作業を行った。参加者も近年で一番の人数だった。
合計	80 件	助成金額合計 2,370,013 円	

(5) 自治協議会（福祉部会）や市民センターとの連携の推進

地域福祉事業の推進を図るため、東松島市が進める市民協働のまちづくりと連携した自治協議会や市民センターの事業の実施に対し、地域福祉活動推進事業交付金を交付した。

No.	名 称	助成金額
1	矢本西コミュニティ協議会	70,000円
2	赤井地区自治協議会	70,000円
助成金額合計		140,000円

(6) ふれあいのつどい事業

独居高齢者の交流と社会参加の場を提供し、孤立や引きこもりの防止と生活の基盤となる地域活動への参加意欲を向上させることを目的に開催した。

開催会場： 仙台・奥州秋保温泉『蘭亭』（仙台市太白区秋保町湯元字木戸保 7-1）				
開催日	10月13日（金）	10月20日（金）	10月27日（金）	参加 延べ人数
開催地区	東松島東ブロック	東松島中央ブロック	東松島西ブロック	
参加者	79人	91人	83人	253人
（一般）	（75人）	（78人）	（53人）	（206人）

(公営住宅)	(4人)	(13人)	(30人)	(47人)
スタッフ	14人	14人	15人	43人
(民生委員)	(4人)	(5人)	(5人)	(14人)
(社協職員)	(10人)	(9人)	(10人)	(29人)
参加者合計	93人	105人	98人	296人

(7) ノーマライゼーション普及事業の実施（夏休みのつどい事業・教育委員会と共催）

市内の特別支援学級に在籍している小・中学生と家族（保護者等）・担当教諭らが、施設見学や体験学習を通じ、学校卒を超えた交流として参加者相互の関わりや絆を深めた。

開 催 日	平成２９年７月２６日（水）		実施場所	仙台市方面	
内 容	見学・体験先： 仙台市科学館、仙台万華鏡美術館 研修・昼食先： 社会福祉法人「チャレンジドらいふ」（障害児就労支援施設）				
参加者数 （５家族）		矢本西小	矢本第一中学	鳴瀬未来中学	計
	児童・生徒	３人	２人	１人	６人
	保護者等	４人	１人	１人	６人
	合計	７人	３人	２人	１２人
同行スタッフ		教育委員会　１人、社協　３人（その他　ふくし号運転手）			

(8) 特別支援学級への学用品等支給事業

児童・生徒の学習支援の一環として、学校で学び成長する過程を実感してもらうため、市内特別支援学級設置校と支援団体（あかしや会・しいのみ会・いちょうの会）が共催する行事において、学用品等の支給を行った。（社協後援事業）

No.	事業名	実施日	支給内容
1	あかしや会・しいの実会・いちょうの会 合同クリスマス学習会（会場：大曲市民センター）	平成29年 12月11日（月）	図書カード (75人)
2	鳴瀬地区特別支援学級交流活動 第2回みんなの会「卒業・進級を祝う会」 (会場：宮野森小学校)	平成30年 2月15日（木）	文具セット (進級 11人) (卒業 2人)
3	あかしや会・しいの実会主催 「卒業・進級を祝う会」 (会場：赤井市民センター)	平成30年 2月28日（水）	文具セット (進級 55人) (卒業 8人)

(9) 子ども・若者の居場所づくり支援事業

少子化による子どもの育成環境を緩和するため、家庭や学校以外の場における子どもたちの居場所（集まれる場、活躍の場）を形成するための手法として、世代間の交流やプラットフォームの立上げなど将来を支えるための支援づくりを進めた。

◆子ども食堂等の居場所づくりを検討または実施している個人・団体への活動支援

柳北の自治会、住民有志が立ち上げた「ありあけだんらん食堂」に対する事業検討段階での助言、助成金情報の提供、物品貸与、事業運営補助、事業実施後の課題検討等の支援を行う。

◆子ども・若者への支援を考えている個人や団体の連携を図るための会議を実施

会議回数： 毎月1回実施

場 所： 東松島市中央被災者サポートセンター

構 成 員： 保育ボランティア、NPO法人、自治会役員、福祉事業所等

内 容： 各団体・個人の取り組みの情報共有。子どもの居場所づくり等に関する学習会

◆支援手法の研修、情報交換、事例検討などの勉強会の実施（共同募金と共催）

子どもの居場所づくりを考えるセミナーを開催「地域で支えよう、子どもたちの未来」

※詳細は、共同募金事業へ記載。

（10）東松島市民生委員児童委員協議会（事務事業の一部）の支援

◆構成：民生委員数72人・主任児童委員3人（定数87人）〔平成30年3月31日現在〕

◆総会：通常総会 年1回（平成29年4月12日開催）

12月臨時総会 年1回（平成29年12月13日開催 会長選任）

◆正副会長会議：年1回、役員会：年4回、定例会：毎月開催、視察受入対応：年4回

◆社協の支援業務

総会・会議資料、報告文書等の作成と発送、定例会等会議運営、会計事務

（11）各種福祉団体の事務支援

東松島市老人クラブ連合会

◆構成：33単位会、会員数約1,092人

◆総会：年1回

◆社協の支援業務

総会・会議資料、報告文書等の作成と発送、会議の設営

東松島市遺族会

◆構成：会員数305人

◆代議員会（総会）：年1回、正・副会長会議：年3回、理事会：年3回、監査会：年2回

◆社協の支援業務

総会・会議資料、報告文書等の作成と発送、会議の設営、戦没者追悼式（職員4人協力）

東松島市身体障害者福祉協会

◆構成：会員数88人

◆総会：年1回、役員会：年9回、三役会議：年1回

◆社協の支援業務

総会・会議資料、報告文書等の一部作成

東松島市介護支援すこやかクラブ

◆構成：会員数 38人

◆総会：年1回、役員会：年11回

◆社協の支援業務

社協事業「湯楽里」へのボランティア参加協力、総会・会議資料、報告文書等の一部作成
機関紙「すこやかだより」の発行（年1回）

(12) 情報発信の推進

■広報誌「社協だより ふれあいねっと」

〔年8回発行：全戸配布〕

第44号：平成29年 5月1日 発行

第48号：平成29年12月1日 発行

第45号：平成29年 8月1日 発行

第49号：平成30年 1月1日 発行

第46号：平成29年10月1日 発行

第50号：平成30年 2月1日 発行

第47号：平成29年11月1日 発行

第51号：平成30年 3月1日 発行

■東松島市社会福祉協議会のブログ

＊社協ブログ平成20年4月開設 ▶ 社協行事紹介、イベント情報・各種募金等の呼掛け 他

社協ブログ URL [【http://hmshakyou.blogzine.jp/blog/】](http://hmshakyou.blogzine.jp/blog/)

＊東日本大震災後、東松島市災害VC専用ブログ開設 ▶ 現在の復興支援センター活動を紹介

社協生活復興支援センターブログ URL [【http://msv3151.c-bosai.jp/group.php?gid=10180】](http://msv3151.c-bosai.jp/group.php?gid=10180)

(13) 他社協、社福法人との連携強化

■社会福祉法人更別村社会福祉協議会との災害時等相互支援協定の締結

〔目 的〕長年にわたる両自治体の友好姉妹都市提携に基づく幅広い分野での交流の実績と東日本大震災を契機とした交流の絆を大切にし、今後に繋げていくため、相互の協力について協定を締結するもの。また、平常時においても相互交流を深め、災害時に備えた地域福祉活動の推進に寄与できるように努めるもの

〔締 結 日〕平成30年1月19日（金）

〔締結場所〕プレセティア内康

■4社協（日光市・相馬市・妙高市・東松島市）地域福祉連絡会の開催

〔目 的〕「東日本大震災」「平成27年9月関東・東北豪雨」を契機として芽生えた県域を越えた社協同志の絆を大切にし、平常時においても相互交流を深め、地域福祉活動の実践を推進していくことを目的に開催した。

〔参加社協〕日光市社会福祉協議会、相馬市社会福祉協議会、妙高市社会福祉協議会
東松島市社会福祉協議会

〔日 時〕平成29年9月15日（金）

〔場 所〕新潟県妙高市

(14) 東松島ふくしネットワーク事業の実施

■市内福祉事業者等のネットワーク化の推進

〔目 的〕市内福祉事業所等に所属する職員間の「顔が見える」関係づくり。

※介護関連事業収益を活用した地域福祉貢献事業

〔実行委員〕市内福祉事業所等の職員 21事業所・21人 （実行委員会4回開催）

① 東松島市福祉事業所職員スポーツ大会

〔開 催 日〕平成29年11月11日（土）

〔開催場所〕東松島市民体育館

〔実施内容〕空き缶積みゲーム・ペタンク・キンボール・パン食い競争 など

〔参 加 者〕市内高齢者介護・障害福祉サービス事業所 18事業所 14チーム 約75人

② 東松島市福祉事業所職員交流会

〔開 催 日〕平成29年11月17日（金）

〔開催場所〕JAいしのまき 矢本支店 2階ホール

〔参 加 者〕市内高齢者介護・障害福祉サービス事業所 15事業所 35人

(15) 災害時生活支援体制の整備

災害時要援護者の避難や生活支援を念頭に、福祉避難所や災害ボランティアセンター運営等の体制整備の推進を目的とするもの。

■東松島市総合防災訓練への参加

〔開催日〕平成29年6月18日(日) 8:30～ 老人福祉センター

〔対象者〕本会社協職員

〔実施内容〕①職員参集訓練

②災害対策本部設置訓練

③東松島市災害対策本部への参加

④老人福祉センター来館者避難誘導・センター被害状況確認訓練

⑤福祉避難所設置訓練(避難者受入態勢確認。備蓄品在庫確認)

⑥災害ボランティアセンター設置訓練(センター立ち上げ時の手順確認等。)

■老人福祉センターでの避難訓練実施

〔開催日〕平成29年10月10日(火) 10:00～ 老人福祉センター

〔対象者〕本会社協職員

〔実施内容〕①老人福祉センター来館者避難誘導・センター被害状況確認訓練

3. 生活支援体制整備事業(東松島市受託事業)

高齢者等が住み慣れた地域で誇りと生きがいを持って在宅生活を継続することができるよう、高齢者等の支援ニーズと提供されるサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する多様な事業主体と連携して、多様な介護予防・生活支援サービスの提供体制を構築することを目的とする。

■生活支援コーディネーターの配置

第1層に生活支援コーディネーターを配置し、地区CSWと連携を図りながら地域活動へ訪問し地域資源の把握、お茶会等の資源を立ち上げた。相談機関へのニーズのつなぎ等マッチングをおこなった。

生活支援コーディネーター年間の活動内容

項目	件数	項目	件数
会議・打ち合わせ	235件	相談対応	39件
地域資源の把握	596件	研修	58件

■東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の設置

サービスを提供する多様な事業主体と連携する場として東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)を設置した。

・第1回地域支え合い推進委員会

開催日 平成29年9月5日(火) 10時～11時45分

内 容 委嘱状交付

生活支援体制整備事業理解のための研修会

講師 仙台白百合女子大学 人間学部准教授 志水田鶴子氏

協議内容

- ・正副委員長の互選
- ・東松島市の高齢者状況及び地域での活動について
- ・今後のスケジュール
- ・その他

・第2回地域支え合い推進委員会

開催日 平成29年11月22日（水）10時～11時45分

- 内 容
- ・地域資源アンケート分析報告について
 - ・生活支援体制整備の今後の進め方について
 - ・資源リストの作成について
 - ・生活支援体制整備事業の啓発について

・第3回地域支え合い推進委員会

開催日 平成30年3月12日（月）10時～11時45分

- 内 容
- ・地域支え合い研修会の報告について
 - ・生活支援体制整備事業の進捗状況について
 - ・支え合いフォーラムについて
 - ・その他

■地域支え合い研修会

改正介護保険制度の理解、支え合いの地域づくり推進を目的として研修会を開催。

講師による基調講演と地域における活動について地区ごとのグループワークを実施。

グループワークの内容については「地域での活動」「今後してみたい活動」をテーマとした。

[研修会開催日時及び場所]

- ・平成29年12月11日（月）19時～20時30分

赤井市民センター 多目的ホール 参加者数 62名

対象地域 赤井地区

- ・平成30年1月22日（月）19時～20時30分

東松島市コミュニティセンター 2階会議室 参加者数 63名

対象地域 大曲地区、矢本東地区、矢本西地区、大塩地区

- ・平成30年1月29日（月）19時～20時30分

小野市民センター 講堂 参加者 42名

対象地域 小野地区、野蒜地区、宮戸地区

4. いきいきほっとサロン事業 （東松島市受託事業「地域介護予防活動支援事業」）

(1) いきいきほっとサロン事業

できる限り要介護状態になることなく、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域で生活している住民同士やボランティア等が気軽に集まり、ふれあいを通して生きがいがづくり・仲間づくりの輪を広げ、地域の支え合いの力を高めることを目的に開催した。

No.	開催地区	登録人数 (人)	開催回数	延べ参加者数 (人)	主な内容
1	横沼	22	22	302	歌・指体操・指ストレッチ 介護予防教室 創作活動 交流会・茶話会 芸能ボランティア ニュースポーツ 移動研修 食事会 健康体操・ダンベル体操 脳活性化転倒予防教室
2	裏沢	23	20	331	
3	四反走	20	21	297	
4	鹿妻	27	19	296	
5	下町	24	22	311	
6	柳	12	12	68	
7	上町東	24	22	383	
8	関の内	28	23	466	
9	赤井南西	20	20	255	
10	赤井下区	37	10	206	

11	赤井中区	32	6	126	レクリエーション DVD鑑賞等
12	塩入	32	10	242	
13	道地	21	10	158	
14	小野	30	12	296	
15	大塚	25	11	184	
16	川下	15	22	270	
17	西福田上	8	24	161	
18	西福田下	5	9	35	
19	平岡	23	23	325	
20	肘曲	21	11	137	
21	浅井	25	4	65	
22	小松南	21	11	154	
	計	495	344	5,068	

※登録人数は平成30年3月末現在

5. 共同募金事業（共同募金配分金による事業）

（1）ボランティア登録団体助成事業の実施

ボランティア登録団体の育成を兼ね、活動しやすい環境づくりと組織の活性化を図り、市民自らが取り組むボランティア活動を支援した。

助成金申請ボランティア登録団体数	21 団体	内 訳	高齢者支援団体	7 団体
			高齢者支援（芸能団体）	6 団体
			学習団体	4 団体
			子ども・障害者支援団体	3 団体
			スポーツ団体	1 団体
平成29年度助成金合計 420,000 円		(助成金の単価 1 団体 20,000 円)		

（2）総合的学習支援事業の実施

家庭や学校外での地域社会とのつながりを意識し、地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらうことを目的に支援した。

No.	助成申請学校名	金額	事業概要
1	矢本東小学校	37,000円	（4年）みんなにやさしい町 （6年）東松島応援隊になろう
2	大曲小学校	40,000円	（3年）レッツゴーうまいものたんけんたい （4年）ふるさと博士になろう
3	大塩小学校	40,000円	（5年）大塩ブランド米をつくろう （低学年）サツマイモを育てよう
4	赤井南小学校	40,000円	（3年）チャレンジする人と共に （5年）稲を育てよう
5	鳴瀬桜華小学校	40,000円	（5年）東松島の食 大発見！ （6年）郷土の歴史を調べよう
6	宮野森小学校	40,000円	（高学年）調べよう伝えよう私たちの宮野森 （小中学年）ふるさとの山や海に親しもう
7	矢本第一中学校	39,760円	（2年）職場体験学習
助成金額合計		276,760円	※助成金額は1校につき上限40,000円

(3) 平成 28 年度事務費繰越配分

◆ 音無美紀子歌声喫茶

開催日 平成 30 年 1 月 26 日 (金)・27 日 (土) 3 か所で開催

参加者 市民約 270 人

◆ のびる地区復興祭へのイベント助成

野蒜ヶ丘まちびらきまつり出店

[概要] 野蒜ヶ丘まちびらきまつりにおいて、共同募金啓発、社協紹介、民生委員紹介の為の出店を行った。啓発チラシを差し込んだ PR ティッシュと赤い羽根共同募金の風船の配布、レクリエーション体験コーナーを通じて、多くの来場者へ活動紹介・啓発を行うことができた。

[実施日] 平成 29 年 10 月 15 日 (日)

[場所] 野蒜市民センター

[参加人数] 3,300 名

(4) 平成 28 年度東日本大震災復興支援特別配分

◆ あおい地区青森ねぶたと夏まつりの協賛

[概要] 防災集団移転地であるあおい地区において、転居してきた住民同士の交流を目的とした夏祭りをあおい地区各自治会との共催にて実施。住民同士の交流の機会、震災前住んでいた地域の住民同士の再会の場となった。

[実施日] 平成 29 年 8 月 19 日 (土)

[場所] あおい地区西集会所 (イベント会場)、あおい地区中央道路 (ねぶた運行)

[参加人数] 8,500 名

(5) 平成 28 年度市町村募金按分処理に係る配分事業

◆ 赤い羽根ポスターコンクール (市内小中学生 34 人応募)

◆ 障がい者支援分野配分事業

40,000 × 2 団体・・・身体障害者福祉協会・視覚障害者福祉協会

30,000 × 4 団体・・・共生園・ぎんの星・てあわせ・くるり

◆ 子ども食堂セミナー開催

講演会「地域で支えよう子どもたちの未来」～ありあけだんらん食堂の取り組み～

参加者 子ども支援に関心のある市民・ボランティア団体 77 人

開催日 平成 30 年 3 月 13 日 (火)

講師 TEDIC 代表 門馬優氏 仙台子ども食堂 代表 門間尚子氏
柳北自治会長 昆野美津子氏 同 民生委員 柿崎由香氏

(6) 歳末たすけあい配分事業

■ 歳末たすけあい運動実施状況

◆ 受付実績

個人	法人募金	学校募金	イベント募金	その他の募金	計
52,000 円	100,000 円	3,902 円	137,837 円	11,261 円	305,000 円

◆ 配分先

歳末たすけあい配分委員会の審査により、市内の子ども支援団体や生活困窮者世帯に対し、食料品や日用品と共に配分した。

- 子ども支援団体 1か所
- 地域見守り活動団体 1か所
- 生活に課題のある世帯 15世帯
- 支援学級の会 3か所

(7) 赤い羽根共同募金事業

■赤い羽根共同募金実施状況

◆平成30年1月末現在の実績 4,283,814円については、宮城県共同募金会に全額送金済み。以下、平成30年3月末の実績

個 人	戸別募金	学校募金	イベント募金	その他の募金	計
15,000 円	4,027,360 円	93,012 円	20,003 円	174,414 円	4,329,789 円

6. ボランティアセンター事業

(1) 地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり

●ボランティア講座

地域福祉活動やボランティア活動への住民参加を促進するため、各種養成講座や講演会、体験学習などの取組みを進めた。

市民ボランティア講座 福祉教育サポーター編			
講座名	みんなで考えよう！福祉・障害について（２回シリーズ）		
開催日・ 参加人数	１日目：平成２９年６月３０日（金）	参加人数	３０人
	２日目：平成２９年７月 ５日（水）	参加人数	２４人
講 師	社会福祉法人 宮城県身体障害者福祉協会 宮城県障害者福祉センター 熊谷 明子氏、伊藤 圭孝氏		
【講座内容】社協が実施する福祉教育（キャップハンディ教室）のサポーター養成を兼ねる。 １日目 講義・演習「障害の基礎知識について」、「車いすの基本操作について」 ２日目 実習「屋外での車いす体験」、講義「障害を感じないための工夫について」			

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

●キャップハンディ体験教室の開催

〔目 的〕市内の小学校及びを地域の親子を対象に、福祉教育の一環としてキャップハンディの出前教室を開催。子どもたちやその親御さんが、普段感じるここのない身体の不自由さを体験することによって、障害とは何かを理解していく。

〔内 容〕障がい者や高齢者について学び、自分たちにできることや対応を考える。

車椅子、白杖などの使い方や手話の仕方を学び、障がい者の気持ちを感じながら介助の仕方を学ぶ。

開催日	場 所	学 年	児童数	内 容	福祉教育 サポーター
平成29年6月22日（木）	赤井南小学校	4年	44人	認知症キャラバンメイト	
平成29年7月6日（木）	矢本東小学校	4年	98人	認知症キャラバンメイト	
平成29年9月4日（月）	赤井小学校	4年	30人	白杖体験	3人
平成29年11月8日（水）	赤井南小学校	3年	46人	車いす・白杖体験	2人
平成29年11月20日（月）	赤井小学校	4年	30人	車いす体験	2人

平成 30 年 1 月 23 日(火)	矢本西小学校	4 年	47 人	車いす・白杖・手話	2 人
---------------------	--------	-----	------	-----------	-----

●平成 29 年度ボランティアセンター登録状況(平成 30 年 3 月末現在)

No.	団体の種類	団体数	所属人数
1	高齢者支援団体	9 団体	122 人
2	高齢者支援（芸能団体）	15 団体	121 人
3	学習支援団体	5 団体	22 人
4	子ども・障害者支援団体	3 団体	32 人
5	スポーツ支援団体	2 団体	38 人
6	その他	3 団体	25 人
合 計		37 団体	360 人

個人ボランティア登録数	7 人
-------------	-----

●ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込件数	人 数	事故件数
ボランティア保険	86 件	715 人	2 件
ボランティア行事保険	91 件	6,110 人	0 件
いきいきふれあいサロン保険	32 件	6,127 人	0 件

●ボランティア派遣の状況

種 類	回数	概 要
子育て関係	55 回	乳幼児健診時の一時預かり等
手話学習支援	1 回	キャップハンディ教室への協力
演芸支援	27 回	サロン・お茶会・地区敬老会時の演芸披露
イベント支援	1 回	農作物の収穫
個人ボランティア	9 回	老福センター事業「湯樂里」

(3) ボランティアシンポジウムの開催

テーマ：『支え合い』ってなんだろう？～災害時の支え合いを振り返り、日常の支え合いを考える～

開催趣旨	社会環境の変化の中で生じる地域課題に対応するため、地域住民相互で支え合う活動を高めるきっかけとして、災害時の助け合いを振り返り「支え合い」とはどのようなものを改めて学び、自分にもできる活動を考え実践につなげるようにする。
共 催	東松島市 東松島市自主防災組織連絡協議会 東松島市民生委員児童委員協議会
開催日時	平成 30 年 3 月 2 日（金）18：00～19：55
会 場	矢本東市民センター 多目的ホール
対 象 者	東松島市民、関係団体等
参加人数	110 人
内 容	<基調講演> 「災害時の支え合い、日常の支え合い、ふたつでひとつ」

	講師：社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 地域・生活支援課 課長 権利擁護センター 所長 間 章 氏 <事例発表> 東松島市自主防災組織連絡協議会の取組みについて 東松島市自主防災組織連絡協議会 会長 片岡 健治氏 東松島市民生委員児童委員協議会の取組みについて 東松島市民生委員児童委員協議会 副会長 齋藤 あや子氏 高知県・佐川町における支え合いの取組みについて 社会福祉法人 佐川町社会福祉協議会 事務局長 田村 佳久氏
--	---

7. 老人福祉センター運営事業

(1) 東松島市老人福祉センターの指定管理（東松島市指定管理事業）

■ 部屋別利用状況

(単位： 人)

	利用者延べ人数	主な利用団体等
集 会 室	2, 9 7 8 人	・福祉団体総会、役員会、会議等 ・ボランティア団体会議等 ・老人一般事業各種教室開催 ・各種研修会等 ・機能回復訓練 OB 会(第2・4火曜日) ・健康体操、もの忘れ予防教室 ほか
小 会 議 室	1 8 0 人	・役員会・生活相談・福祉団体・来客対応等
生活相談室	9 8 人	・生活安定資金、生活福祉資金貸付相談等 ・健康相談 ・福祉団体役員会、ボランティア団体打合せ等 ほか
和 室	9 4 8 人	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日) ・福祉団体会議等 ・ボランティア団体会議等 ・もの忘れ予防教室 ・介護家族の交流会 ほか
浴 室	—	・湯楽里の開催時に一般開放。 ・5月より 給湯器故障のため運転停止
ロ ビ ー	4 7 人	・生活相談、福祉団体打合せ等 ほか
合 計	4, 2 5 1 人	

■機能回復訓練事業(東松島市受託事業)

①利用者：登録人数6人：介助ボランティア7人（平成30年3月末現在）

②開催状況（毎月第2・4火曜日）

実施月	内容(第2週)	人数	内容(第4週)	人数
4月	自主訓練	5	お花見（平筒沼）	5
5月	自主訓練	5	レクリエーション	4
6月	シャッフルボード	5	フラワーアレンジメント	4
7月	シャッフルゴルフ	4	料理教室	5
8月	台風のために中止	0	映画鑑賞会	4
9月	ストライクナイン	4	コーンボール	5
10月	塩釜方面	5	人形劇鑑賞	4
11月	自主訓練	4	りんご狩り	4

1 2 月	クリスマス会	4	休み	
1 月	自主訓練	4	大雪で中止	0
2 月	自主訓練	2	レクリエーション	3
3 月	来年度計画づくり	3	休み	
			参加人数延べ	8 3

■老人一般活動事業(東松島市受託事業)

■各種教室開催状況

◆D I Y 講座	講 師	たかのD I Yスタジオ たかの ひろみ 氏
	内 容	タイルトレーの製作
	実施回数	1 回 (3/14)
	参加人数	1 0 人
◆ヨガ教室	講 師	熱海 和美 氏
	内 容	シニア向けヨガ教室
	実施回数	2 回 (10/26・11/1)
	登録人数	9 人
◆正調どじょうすくい講座	講 師	齋藤 正昭 氏
	内 容	伝統芸能に馴染み、踊りながら技術を取得する
	実施回数	1 回 (11/26)
	登録人数	1 4 人
◆3 B 体操教室	講 師	日本3 B 体操協会公認指導者 中島 弘子 氏
	内 容	ボール・ベル・ベルターを使用し、音楽に合わせて体操をする。
	実施回数	5 回 (10/20・27 11/4・11・18)
	登録人数	2 5 人

■健康相談・健康体操

〔開催日〕健康相談：毎週月曜日

健康体操：毎月第1月曜日

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数	13	20	18	20	12	21	21	21	26	12	9	17	210
開催回数	4	5	4	4	3	4	3	5	5	3	3	4	47

(2) 老人福祉センター自主事業 (いったりかたりサロン事業)

■いったりかたりサロン

〔目 的〕老人福祉センターを会場として、引きこもりがちな高齢者等に「気兼ねなく集える場」を提供し、「潤いのある時間」を過ごしてもらう。また、来場者同士が顔なじみになることにより、孤立を防止する。

※介護関連事業収益を活用した地域福祉貢献事業

〔実施状況〕

① いったりかったりサロン（年１回）

〔開催日〕平成30年1月27日(土)

〔開催場所〕東松島市老人福祉センター

〔実施内容〕音無美紀子歌声喫茶・映画上映会・豚汁・おにぎり無料提供

〔参加者数〕下表のとおり（1月分）

② お休み処『湯楽里』（月１回）

〔開催日〕平成29年5月19日(水)、6月15日(水)、7月13日(水)、8月10日(水)

9月14日(水)、10月19日(水)、12月14日(水)

平成29年1月18日(水)、2月15日(水)、3月15日(水)

〔開催場所〕東松島市老人福祉センター

〔実施内容〕各種映画上映会、昼食提供（カレーライス）、入浴施設の開放等

〔参加者数〕下表のとおり（1月以外）

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
参加者	57	35	40	54	57	35	45	45	150	68	586
ボランティア	4	7	7	7	6	5	6	7	10	8	62

※1月は、「いったりかったりサロン」の人数

8. 高齢者生活支援事業（福祉有償運送事業）

（1）外出支援移送サービスの実施（東松島市受託事業）

■稼働状況

登録人数	年間稼働回数	走行キロ数（延べ）	備考
1人	44回	237.3Km	

②総合相談事業拠点区分

1. 生活困窮者自立促進支援事業

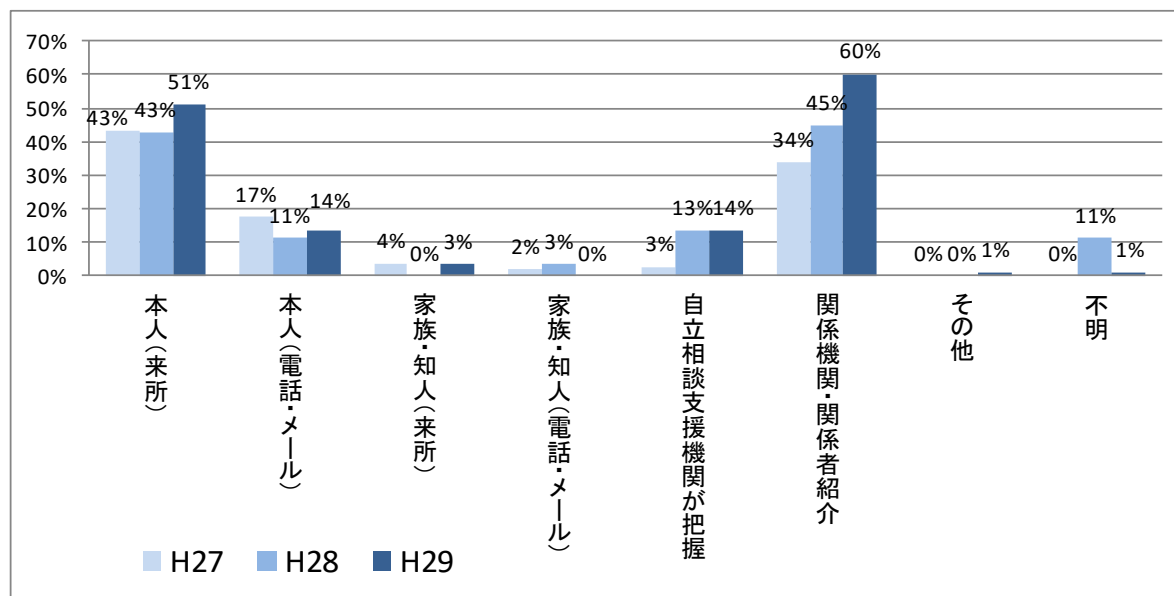
(1) 自立相談支援事業・家計相談支援事業（東松島市受託事業）

■相談支援概況

新規相談受付件数（本人同意なしを含む）		88 件
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）		68 件
支援決定・確認件数（再プランを含む）		27 件
プラン期間中の一般就労を目標にしている		7 件
事業法等利用 法に基づく	住居確保給付金	0 件
	一時生活支援事業	0 件
	家計相談支援事業	6 件
	就労準備事業	0 件
	認定就労訓練事業	0 件
	自立相談支援事業による就労支援	3 件
他 その	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	14 件
	生活保護受給者等就労自立促進事業	1 件
評価実施件数（再プランを含む）		11 件
結果 評価	終結	10 件
	再プランして継続	1 件
	中断	0 件
変化 見られた	変化あり	11 件
	変化なし	0 件
評価実施件数中、一般就労を目標		1 件
うち	一般就労開始を達成	0 件

■相談経路 ※複数選択

相談経路	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人（来所）	47	43%	38	43%	45	51%
本人（電話・メール）	19	17%	10	11%	12	14%
家族・知人（来所）	4	4%	0	0%	3	3%
家族・知人（電話・メール）	2	2%	3	3%	0	0%
自立相談支援機関が把握	3	3%	12	13%	12	14%
関係機関・関係者紹介	37	34%	40	45%	53	60%
その他	0	0%	0	0%	1	1%
不明	0	0%	10	11%	1	1%
合計（実人数）	109	100%	89	100%	88	100%

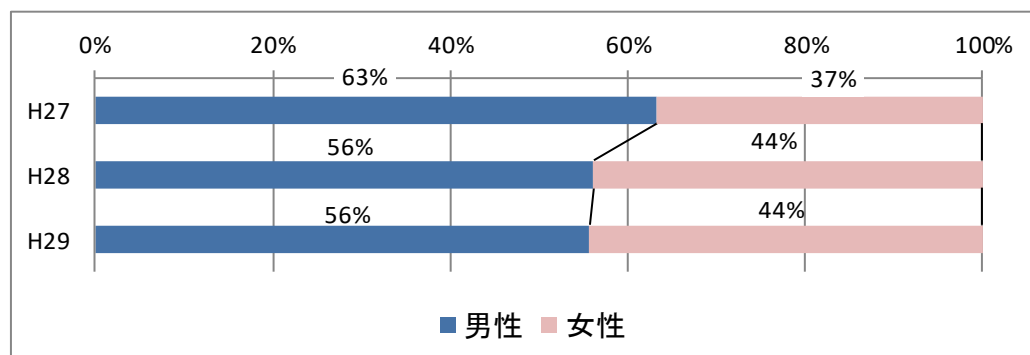


※特記事項

- ・関係機関との連携が進んだことにより、関係機関からつながるケースの比率が増えている。（34%⇒45%⇒60%）
- ・関係機関からつながった場合、くらし安心サポートセンターが同行訪問等によりアウトリーチするケースが増えたため、自立相談支援機関が把握するケースの比率が増えている。（3%⇒13%⇒14%）

■相談者の性別

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	69	63%	50	56%	49	56%
女性	40	37%	39	44%	39	44%
合計	109	100%	89	100%	88	100%

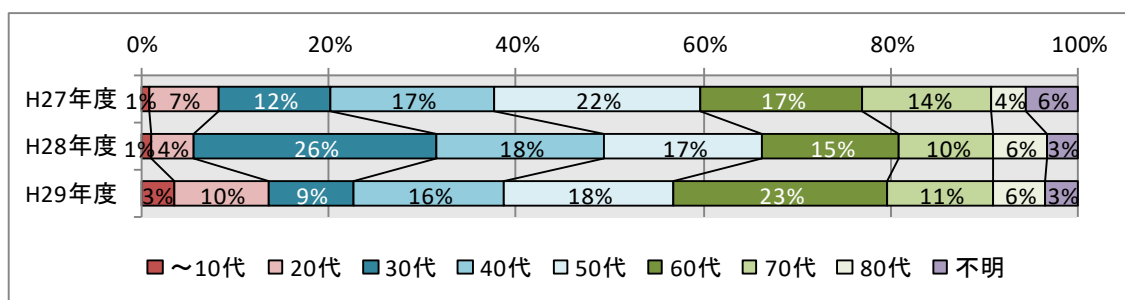


※特記事項

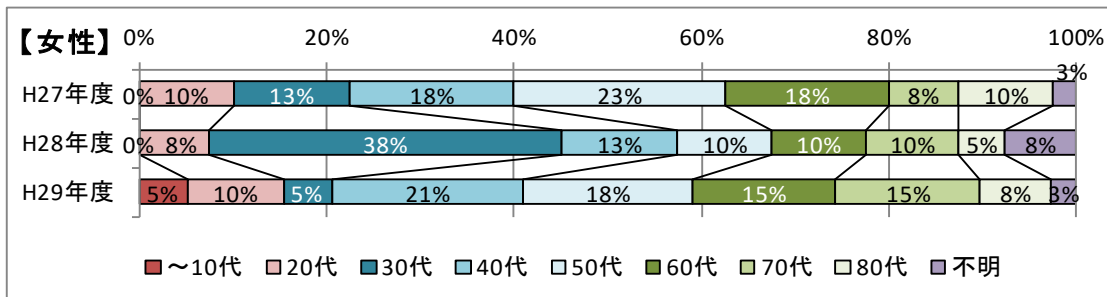
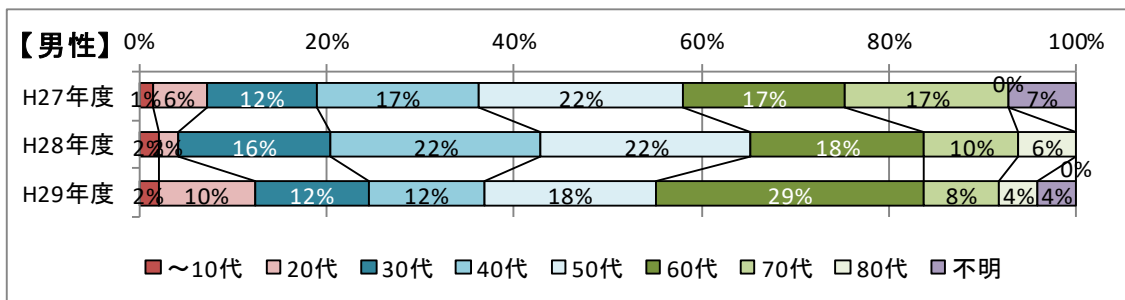
- ・平成 28 年度は、子育て支援課等との連携が進んだことにより、女性（ひとり親等）の相談者の比率が増えている。
- ・平成 29 年度は、紹介元の関係機関の多様化が一層進んでいる。男女比については平成 28 年度からの変化はなかった。

■相談者の年齢

年齢	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
～10代	1	1%	1	1%	3	3%
20代	8	7%	4	4%	9	10%
30代	13	12%	23	26%	8	9%
40代	19	17%	16	18%	14	16%
50代	24	22%	15	17%	16	18%
60代	19	17%	13	15%	20	23%
70代	15	14%	9	10%	10	11%
80代以上	4	4%	5	6%	5	6%
不明	6	6%	3	3%	3	3%
合計	109	100%	89	100%	88	100%



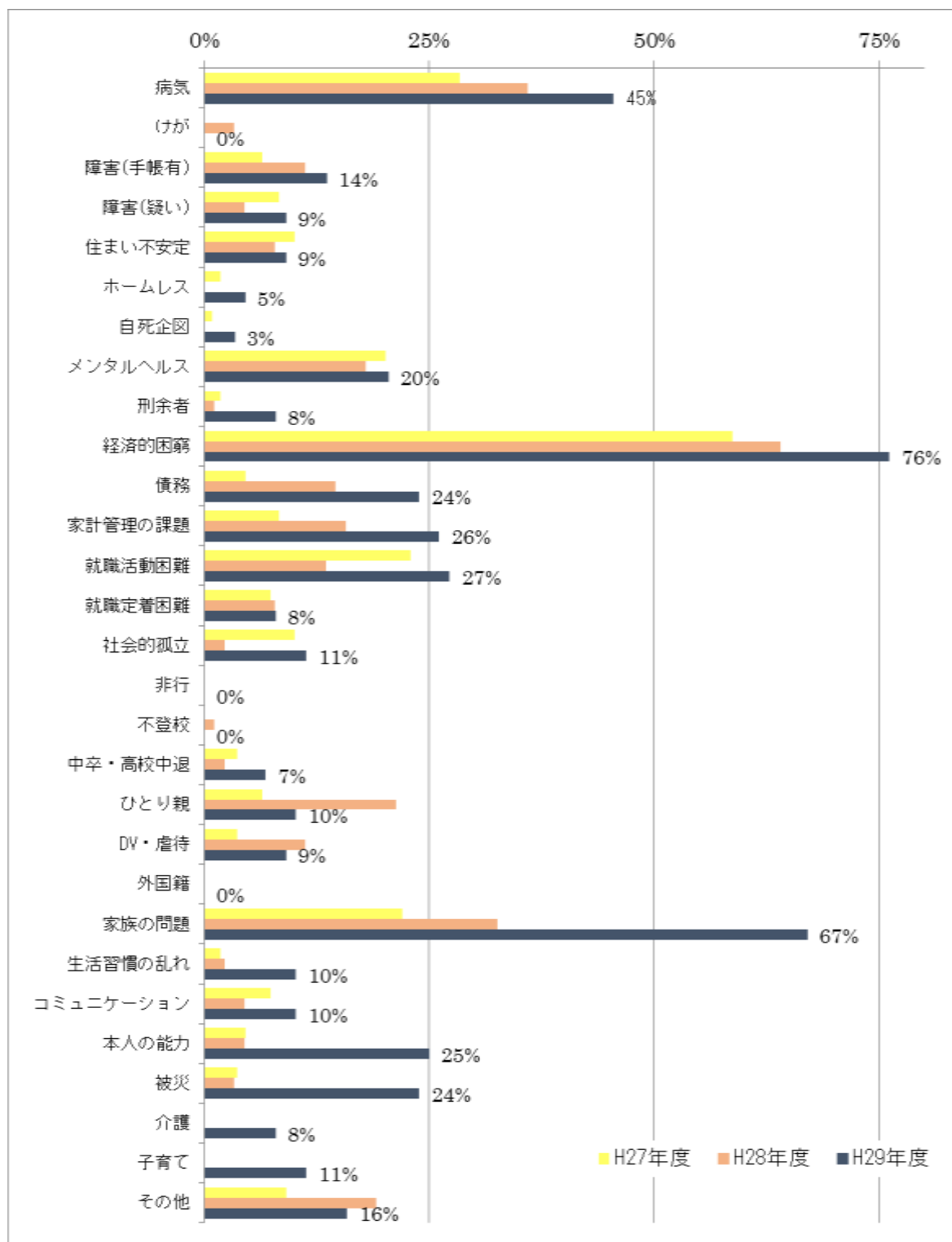
●男女別内訳



※特記事項

- 平成 28 年度は、健康推進課、子育て支援課等との連携が進んだことにより、60代未満の相談者の比率が男女共に増えている。
- 平成 29 年度は、地域包括支援センター、ケアマネ事業所、障害者相談支援事業所等、紹介元の関係機関の多様化が一層進んだことにより、60代以上の相談者の比率が平成 28 年度より増えている。

■相談者が抱える課題 ※複数選択

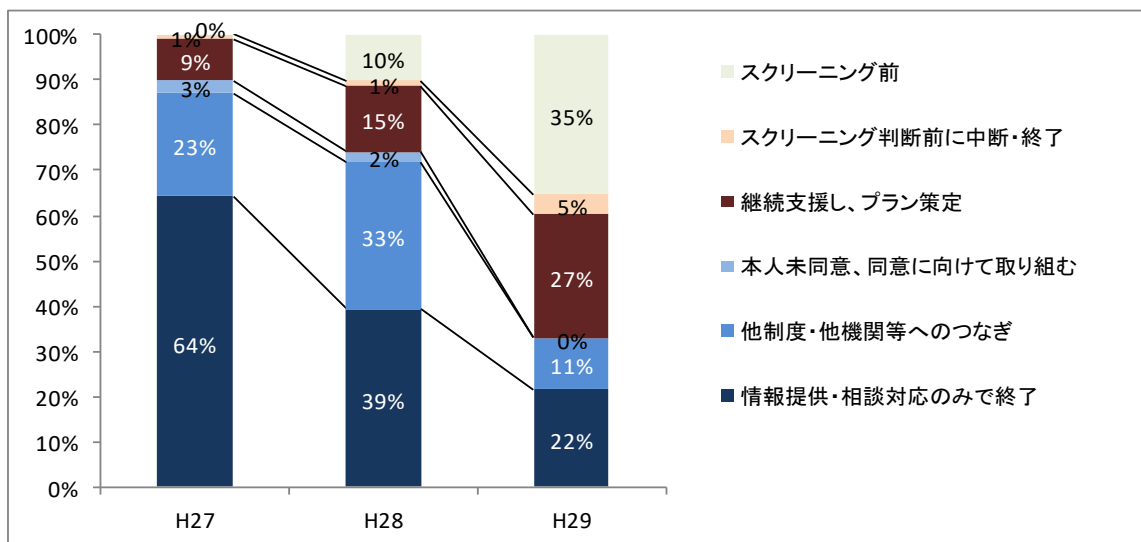


※特記事項

- ・平成 29 年度は、「経済的困窮」や「家計管理の課題」、「就職活動困難」、「家族の問題」、「本人の能力」、「被災」等の課題を抱えた相談者の比率が大きく伸びている。

■スクリーニング結果

スクリーニング種別	H27年度		H28年度		H29年度	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
情報提供・相談対応のみで終了	70	64%	35	39%	19	22%
他制度・他機関等へのつなぎ	25	23%	29	33%	10	11%
本人未同意、同意に向けて取り組む	3	3%	2	2%	0	0%
継続支援し、プラン策定	10	9%	13	15%	24	27%
スクリーニング判断前に中断・終了	1	1%	1	1%	4	5%
スクリーニング前		0%	9	10%	31	35%
合計	109	100%	89	100%	88	100%

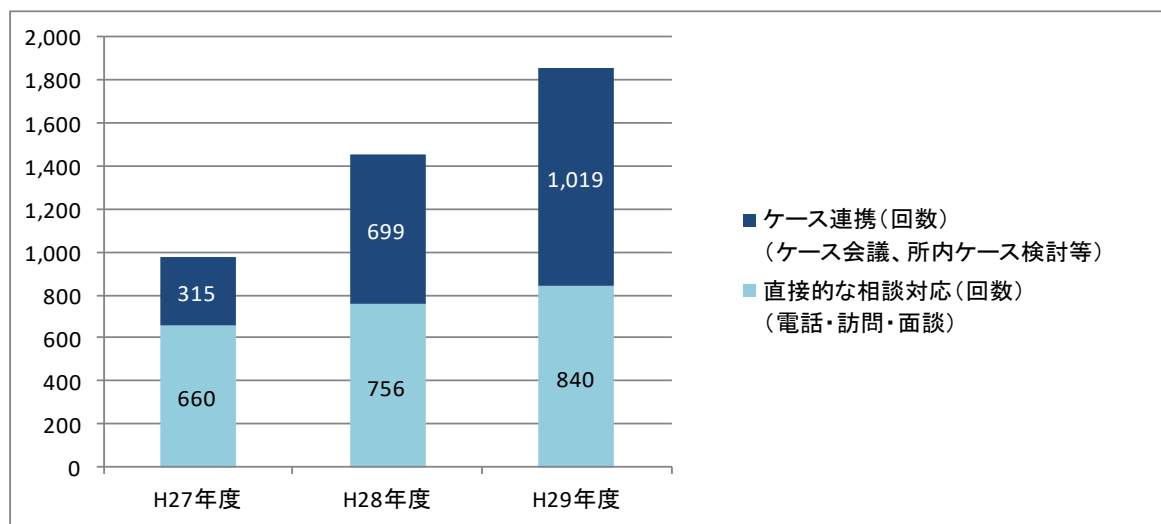


※特記事項

- ・ 情報提供・相談対応のみで終了するケースの割合が減り、伴走型の支援に転換しつつある。
- ・ 他制度・他機関等へのつなぎの場合も相談者への同行やケース会議を開催するなど、多様な行政機関等との連携を深め、支援の充実に努めている。
- ・ 相談者が抱える課題を丁寧にアセスメントするため、初期面談だけで対応を決めず、関わりを重ねながら相談者との信頼関係構築に努めている。
(スクリーニング前の件数が多い要因となっている。)

■支援実施延べ回数

	H27年度	H28年度	H29年度	H27⇒H29 伸び率
直接的な相談対応（回数） （電話・訪問・面談）	660	756	840	127%
ケース連携（回数） （ケース会議、所内ケース検討等）	315	699	1,019	323%
合計（回数）	975	1,455	1,859	191%
ケース連携・直接対応比率 （ケース連携÷直接的な相談対応）	48%	92%	121%	



※特記事項

- ・他機関との連携により支援の充実を図っているため、「ケース連携」の比率が顕著に増えている。（48%⇒92%⇒121%）
- ・他機関との連携を強化しながら伴走型支援への転換を図ってきたため、全体的な活動量が大幅に増加している。
（平成 27 年度から平成 29 年度にかけて、「ケース連携」については 3.2 倍。全体でも 1.9 倍の活動量となっている。）
- ・他機関との連携が増えるにつれ、福祉課だけでなく健康推進課や子育て支援課、建設課、収納対策課、地域包括支援センター、ケアマネ事業所、障害者相談支援事業所等、連携先の多様化が進んでいる。
- ・行政や関係機関だけでなく、民生委員や地域住民とも連携して対応するケースが出てきている。

■ 自立支援の主な内容

	支援内容
①就労支援	・生活保護受給者等就労自立促進事業の活用 ・自立相談支援機関による就労支援 (求人情報の提供、今後の生活についての相談支援、ハローワークへの同行、履歴書の作成指導、個別求人開拓、面接対策) ・就労訓練機関(石巻市内)との連携による就労体験の実施
②家計相談支援	・家計収支の均衡が取れていない生活困窮者に対して、家計表を活用し、家計の状況を「見える化」し、家計管理の意欲を引き出す取り組み ・税等の滞納者に対する分納計画の作成支援、収納対策課への同行支援 ・弁護士と連携した債務整理の支援 ・知人から金銭搾取されている疑いのある独居高齢者に対し金銭管理等の支援を行い財産を保全 ・高齢者虐待世帯の擁護者に対する家計相談支援により、措置入所から一般契約に切り替えを支援
③生活安定資金等の貸付事業との連携	・家計診断により、一時的に必要な資金の額や償還の見通しを考慮した有効な貸付を行い、家計の自立を促進 ・償還完了までの伴走型支援 (償還時に面談を行い、生活状況を把握)
④住居確保	・車上生活者に対する住居確保支援 (下宿情報の調査・提供・同行、災害公営住宅入居支援等)
⑤社会的孤立等への対応	・保健師等との連携による自殺のおそれがある相談者に対する精神的なケア ・市・地域包括支援センターと連携した経済的虐待(疑い)事案対応 ・コミュニティソーシャルワーカー等と連携したゴミ屋敷対応 ・フードバンクの活用による食糧支援 ・犯罪行為への関与を強要されている疑いがあり、金銭搾取され、自殺リスクのある生活困窮者への支援 (保健師、精神保健福祉士、弁護士、警察、建設課、収納対策課、雇用主等との連携) ・刑余者の生活再建支援(孤立防止、就労、貸付等)

■制度理解の促進と関係機関との連携促進のための取り組み等

日付	関係機関	内容
5/30	ハローワーク等	石巻地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会にて意見交換
6/14	宮城県民生委員児童委員協議会	会長研修会にて制度説明と事例紹介
7/13	やもとケアマネネットワーク	東松島市内（一部石巻市）のケアマネジャーのネットワーク会議にて制度説明・事例紹介と今後の連携について
11/28	厚生労働省・宮城県内自治体・自立相談支援機関	意見交換
12/15	東松島市生涯現役促進地域連携事業推進協議会	制度説明と連携について（高齢者の就労の場づくり）
2/20	日常生活自立支援事業（まもりーぶ）生活支援員	仙台圏域生活支援員地域別研修会にて制度説明・事例紹介（家計相談支援事業）
2/22	金銭教育プログラム「Money Connection（マネーコネクション）」	（株）新生銀行・NPO 法人育て上げネット 共同事業・金銭教育プログラム「Money Connection（マネーコネクション）」の視察と今後の連携について

■従事者養成研修の受講状況

日付	内容	場所	参加者
8/23～25	主任相談支援員	全国社会福祉協議会中央福祉学院	及川貴之

■その他（平成 29 年度分）

・認定NPO法人Switch（ユースサポートカレッジ 石巻NOTE）との共催事業

※石巻に拠点がある就労・就学支援団体

日付	内容	場所	参加者数
8/25・9/1・9/8	パソコン講習	東松島市老人福祉センター	11 人 (延べ 23 人)
3/9・3/16・3/23	パソコン講習	東松島市老人福祉センター	8 人 (延べ 21 人)

(2) 生活用品等支援事業（緊急を要する援護者への物品給付）の実施（自主事業）

■給付実績

生活困窮者への援助物資の給付 53 件（内コープフードバンク提供物資での支援 32 件）

(3) 火災見舞金支給事業の実施（自主事業）

災害に見舞われた世帯に対し、見舞金を支給するもの。

平成29年度 [火事見舞金 半焼 10,000 円×1 件（毛布 1 枚×0 件 ※全焼時のみ支給。）]

※その他、宮城県共同募金会から見舞金（半焼 20,000 円×1 件）が支給された。

2. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施（宮城県社会福祉協議会受託事業）

低所得者、障害者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の推進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的とした貸付事業。（※貸付主体県社協・原資厚生労働省）

■取扱状況

相談受付件数	償還指導件数
30 件	30 件

※本年度県社協への申請件数 0 件

3. 生活安定資金貸付事業

(1) 生活安定資金貸付事業の実施

東松島市に居住する低所得世帯に対し、必要な生活資金の貸付を行なうことにより、自立更生と生活安定に寄与することを目的とする貸付事業。

(2) 一時援護資金貸付事業の実施

生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な指導援護を行うことにより、保護の可否が決定されるまでの間の生計を補うことを目的とする貸付事業。

■貸付償還状況

前年度末貸付残高	本年度貸付金額（ ）は件数	本年度回収金額	本年度末貸付残高
生活安定資金	700,000 円（14 件）	590,000 円	2,804,000 円
一時援護資金	240,000 円（8 件）	250,194 円	

4. 日常生活自立支援事業（まもり一歩）

(1) 日常生活自立支援事業（まもり一歩）の実施（宮城県社会福祉協議会受託事業）

■相談受付状況

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数 (社協扱い)	0 人	0 人	2 人	0 人	2 人
利用者総数	2 人	1 人	3 人	0 人	6 人

■契約に基づく利用者への具体的な援助や支援

◆主な支援内容・・・福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類等の預かり

■利用者からの預託物品 ◆通帳：11 通 ◆印鑑：7 個

③在宅介護事業拠点区分

1. 訪問介護事業（介護保険）

（1）訪問介護事業（介護保険サービス・障害福祉サービス）の実施

■ヘルパー事業の利用者数

			延べ利用者数		月平均利用者数		
			人数	構成比	前年度(a)	今年度(b)	差異(b-a)
介護保険	介護 給付	要介護 5	25	3.1%	3.2	2.1	△ 1.1
		要介護 4	36	4.5%	6.4	3.0	△ 3.4
		要介護 3	29	3.6%	2.0	2.4	0.4
		要介護 2	59	7.4%	7.1	4.9	△ 2.2
		要介護 1	105	13.2%	5.9	8.8	2.8
	小計		254	31.9%	24.6	21.2	△ 3.4
	予防 給付	要支援 2	97	12.2%	8.1	8.1	0.0
		要支援 1	153	19.2%	10.3	12.8	2.5
		事業対象	4	0.5%	0.0	0.3	0.3
		小計		254	31.9%	18.3	21.2
	計		508	63.9%	42.9	42.3	△ 0.6
障害福祉	身体障害		43	5.4%	4.8	3.6	△ 1.2
	精神障害		134	16.9%	13.2	11.2	△ 2.0
	地域生活支援		40	5.0%	3.8	3.3	△ 0.4
	計		217	27.3%	21.7	18.1	△ 3.6
ほっとサービス			70	8.8%	7.6	5.8	△ 1.8
合計			795	100.0%	72.2	66.3	△ 5.9
サービス提供時間			9,079		793	757	△ 36.0
ヘルパー常勤換算数					8.3	7.2	△ 1.1
ヘルパー 1人当たり	利用者数				8.7	9.2	0.5
	提供時間				96	105	9.0

2. 居宅介護支援事業

（1）居宅介護支援事業の実施

■ケアマネ事業の利用者数

		延べ利用者数		月平均利用者数		
		人数	構成比	前年度(a)	今年度(b)	差異(b-a)
介護給付	要介護 5	66	4.2%	11.5	5.5	△ 6.0
	要介護 4	169	10.6%	13.8	14.1	0.3
	要介護 3	212	13.4%	17.9	17.7	△ 0.3
	要介護 2	340	21.4%	30.3	28.3	△ 2.0
	要介護 1	337	21.2%	24.3	28.1	3.8
	小計	1,124	70.8%	97.9	93.7	△ 4.3
予防給付	要支援 2	323	20.3%	26.5	26.9	0.4
	要支援 1	140	8.8%	12.3	11.7	△ 0.6
	事業対象	1	0.1%	0.0	0.1	0.1
	小計	464	29.2%	38.8	38.7	△ 0.1
合計		1,588	100.0%	136.7	132.3	△ 4.3
ケアマネ常勤換算数				3.5	3.3	△ 0.2
ケアマネ1人当たり利用者数				33.5	34.3	0.8

※1人当たり利用者数の算定に当たっては、予防給付の利用者数は2分の1でカウントしている。

3. 福祉用具貸与事業

〔目 的〕 居 宅において生活している障害者又は高齢者の日常生活上の便宜を図るため福祉機器の貸与を行うもの。対象者は、要介護認定を受けていない者。要介護1、予防給付に該当し（車椅子は除く）必要と認められる者で本人が住民税非課税である者。

◆貸出状況

名 称	貸出台数	返却台数
ギャッジベッド	0 台	0 台
電動ベッド	0 台	0 台
車椅子	4 4 台	4 1 台

※車いすに関しては、上記の貸出しの他、慰霊祭等、行政が行う各種行事への貸出しも行った。

④被災者支援事業拠点区分

1. 被災者サポートセンター運営事業（東松島市受託事業）

（1）寄り添い型被災者生活支援の実施

【具体的内容】仮設住宅から集団移転・災害公営住宅等へ入居するまで体力や気力を維持し、市民みんなで次のステージに向かえることを目標に、また、災害公営住宅に入居された世帯へは新たな生活に慣れるまでの間、安心して生活をしてもらえるよう生活課題を聞き取り、問題を解決できる専門職や関係機関へつなぐことを重点的に行った。

1) プレハブ仮設住宅訪問件数

	矢本東地区			矢本西地区			鳴瀬地区			訪問 合計	面会 合計	不在 合計
月	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数			
4	120	35	85	304	129	175	867	456	411	1,291	620	671
5	116	35	81	259	99	160	974	511	463	1,349	645	704
6	107	25	82	279	112	167	778	446	332	1164	583	581
7	74	11	63	195	77	118	543	287	256	812	375	437
8	60	11	49	135	62	73	322	188	134	517	261	256
9	40	6	34	104	33	71	246	114	132	390	153	237
10	20	2	18	94	33	61	80	38	42	194	73	121
11	16	0	16	86	21	65	73	34	39	175	55	120
12	8	0	8	38	7	31	94	64	30	140	71	69
1	0	0	0	14	2	12	59	37	22	73	39	34
2	0	0	0	5	1	4	47	40	7	52	41	11
3	0	0	0	5	3	2	45	35	10	50	38	12
合計	561	125	436	1,518	579	939	4,128	2,250	1,878	6,207	2,954	3,253

2) みなし仮設住宅訪問件数

	矢本東地区			矢本西地区			鳴瀬地区			訪問 合計	面会 合計	不在 合計
月	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数			
4	11	4	7	3	2	1	6	4	2	20	10	10
5	9	8	1	3	3	0	7	4	3	19	15	4
6	7	5	2	4	3	1	7	5	2	18	13	5
7	6	5	1	3	3	0	5	4	1	14	12	2
8	7	5	2	3	2	1	4	3	1	14	10	4
9	3	2	1	2	2	0	7	3	4	12	7	5
10	3	1	2	2	2	0	5	2	3	10	5	5
11	4	1	3	2	2	0	5	2	3	11	5	6
12	2	1	1	2	2	0	4	2	2	8	5	3
1	2	1	1	2	2	0	2	2	0	6	5	1
2	3	1	2	2	2	0	2	1	1	7	4	3
3	3	1	2	2	2	0	2	1	1	7	4	3
合計	60	35	25	30	27	3	56	33	23	146	95	51

3) 災害公営住宅訪問件数

	矢本東地区			矢本西地区			鳴瀬地区			訪問 合計	面会 合計	不在 合計
月	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数			
4	937	501	436	544	247	297	299	165	134	1,780	913	867
5	1,035	509	526	633	284	349	285	163	122	1,953	956	997
6	1,077	537	540	478	229	249	349	183	166	1,904	949	955
7	975	503	472	472	218	254	325	208	117	1,772	929	843
8	882	525	357	519	244	275	437	300	137	1,838	1,069	769
9	915	505	410	517	270	247	504	304	200	1,936	1,079	857
10	849	456	393	415	226	189	614	379	235	1,878	1,061	817
11	919	495	424	409	191	218	646	377	269	1,974	1,063	911
12	1,018	534	484	514	223	291	757	422	335	2,289	1,179	1,110
1	1,016	506	510	537	237	300	847	502	345	2,400	1,245	1,155
2	949	512	437	474	254	220	864	495	369	2,287	1,261	1,026
3	1,001	542	459	525	258	267	907	517	390	2,433	1,317	1,116
合計	11,573	6,125	5,448	6,037	2,881	3,156	6,834	4,015	2,819	24,444	13,021	11,423

4) 集団移転地自主再建者訪問活動 (11/14・15・28・19 , 12/5・6・7, 1/16・17)

	対象戸数	訪問戸数	不在数	面会数	未着工
あおい一丁目	88	76	37	39	12
あおい二丁目	97	91	44	47	6
あおい三丁目	87	65	32	33	22
矢本西地区	87	86	41	45	1
牛網地区	45	44	16	28	1
月浜	18	17	4	13	1
大浜	10	10	4	6	0
室浜	6	6	3	3	0
野蒜ヶ丘一丁目	55	55	21	14	20
野蒜ヶ丘二丁目	111	111	41	53	17
野蒜ヶ丘三丁目	65	65	26	26	13
合計	669	626	269	307	93

5) 要望・相談件数

	サポートセンター							地域 包括	くらし 安心	弁護士 相談	合計
月	健康 生活支援	住環境	その他	小計	巡回員 対応件数	事務員 相談件数 (電話相 談含む)	小計				
4	11	37	0	48	32	569	601	0	5	1	655
5	4	42	0	46	69	659	728	0	8	0	782
6	1	45	0	46	50	827	877	0	9	0	932
7	0	23	0	23	110	819	929	0	9	0	961

8	5	34	0	39	49	704	753	0	9	0	801
9	1	47	0	48	95	839	934	0	12	1	995
10	1	46	0	47	53	583	636	0	12	0	695
11	0	15	0	15	59	514	573	0	10	0	598
12	13	11	0	24	42	524	566	0	13	0	603
1	5	14	0	19	46	448	494	0	10	0	523
2	4	17	0	21	29	325	354	0	6	0	381
3	11	9	0	20	17	332	349	0	5	0	374
合 計	56	340	0	396	651	7,143	7,794	0	108	2	8,300

6) 関係機関に繋いだ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
健康推進課	2	0	0	3	0	1	4	0	8	0	0	0	18
福祉課	0	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	5
生活再建支援課	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
建設課	2	1	0	0	2	0	1	0	4	1	1	2	14
包括支援センター	2	4	1	2	4	2	2	0	16	4	4	9	50
くらし安心SC	4	0	0	2	2	0	5	8	0	1	0	0	22
社協介護事業所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
障がい者支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
住宅供給公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
合 計	12	6	1	8	11	4	13	9	29	7	7	11	118

(2) 地域交流サロンの運営支援（お茶会・サロン）

住民の転居等により交流活動が停滞し、住民同士のつながりが希薄化することが見込まれる地域において、住民同士の交流の場づくりを積極的に支援することにより、孤立感の解消や軽減を図った。

【具体的内容】仮設団地集会所や災害公営住宅集会所等で行う住民活動を後押しするものとして本会が主催するお茶会・創作活動等のイベント、他団体の支援企画の調整。

月	開催数	参加者数
4	25	345
5	25	405
6	29	469
7	32	25
8	25	326
9	19	272
10	31	420
11	33	488
12	23	301
1	22	271

2	24	369
3	16	207
合計	304 回	3,898 人

(3) こころと体のケア事業（業務委託）

東松島市の被災者を対象とした家庭訪問、健康状態の把握、健康相談などの健康相談支援を行うことで、被災者の心身の健康保持・増進に寄与することを目的とした。

■業務委託先：一般社団法人日本て・あーて、TE・ARTE，推進協会

○訪問世帯の状況（矢本東・矢本西地区）

訪問世帯数	うち面談世帯数	業務従事者延人数
812 世帯	417 件	47 人

○訪問世帯集計表

矢本東地区

活動日	訪問世帯数	訪問状況		従事者数
		面談	不在	
4 月	28	14	14	2
5 月	23	17	6	2
6 月	62	29	33	3
7 月	28	17	11	2
8 月	51	28	23	3
9 月	32	26	6	3
10 月	26	14	12	2
11 月	30	19	11	2
12 月	33	16	17	2
1 月	29	15	14	2
2 月	35	20	15	2
3 月	0	0	0	0
合計	377 世帯	215 件	162 件	25 人

矢本西地区

活動日	訪問世帯数	訪問状況		従事者数
		面談	不在	
4 月	29	14	15	2
5 月	43	16	27	2
6 月	34	15	19	2
7 月	70	31	39	2
8 月	31	16	15	2
9 月	30	20	10	2
10 月	22	17	5	2
11 月	36	15	21	2
12 月	68	24	44	2

1 月	42	15	27	2
2 月	30	19	11	2
3 月	0	0	0	0
合計	435 世帯	202 件	233 件	22 人

■業務委託先：医療社団法人 KNI

○訪問世帯の状況（鳴瀬地区）

訪問世帯数	うち面談世帯数	業務従事者延人数
477 世帯	254 件	13 人

○訪問世帯集計表

活動日	訪問世帯数	訪問状況		従事者数
		面談	不在	
4 月	41	22	19	1
5 月	83	38	45	2
6 月	0	0	0	0
7 月	0	0	0	0
8 月	0	0	0	0
9 月	71	31	40	2
10 月	30	21	9	2
11 月	52	26	26	2
12 月	0	0	0	0
1 月	32	21	11	1
2 月	168	95	73	3
3 月	0	0	0	0
合計	477 世帯	254 件	223 件	13 人

（４）復興福祉のまちづくり事業

移転後を見据えた各自治協議会や市民センター等との協働による被災者交流事業。住民同士の交流の場づくりを協働で実施し、被災者の孤立感の解消や軽減を図った。

■音無美紀子の歌声喫茶

まちづくり協議会や市民センターの共催による被災者支援事業

開催日	開催場所	参加者数（単位：人）
平成30年1月26日（金）	野蒜市民センター	80
平成30年1月26日（金）	往還地区センター	40
平成30年1月27日（土）	東松島市老人福祉センター	150
合計		270

■佐藤由美ピアノコンサート

開催日	開催場所	参加者数（単位：人）
平成29年10月6日（金）	下町地区センター	20
平成29年10月6日（金）	大曲小放課後児童クラブ	30
平成29年10月7日（土）	大曲市民センター	40
合計		90

(5) 地域交流促進事業

災害公営住宅の整備や自主再建による仮設住宅からの退去に伴い、仮設住民同士のつながりの稀薄化や転居先での顔の見える関係作りも課題となっている。当事業をコミュニティづくりのひとつとして、住民同士の交流の機会を支援することにより、住民交流の促進、地域での孤立感の解消や軽減を図った。

■プリザーブドフラワーアレンジメント教室

金子美枝(フラワー装飾一級技能士)講師による創作活動及び茶話会による住民交流。

開催日	開催時間	開催場所	参加者数 (単位:人)
平成29年7月1日(土)	14:00～16:00	小野市民センター	31
平成29年7月2日(日)	10:00～12:00	矢本東市民センター	23
平成29年7月2日(日)	14:00～16:00	矢本東市民センター	18
平成29年11月18日(土)	10:00～12:00	赤井市民センター	21
平成29年11月18日(土)	14:00～16:00	野蒜市民センター	11
平成29年11月19日(日)	10:00～12:00	小野市民センター	20
平成29年11月19日(日)	14:00～16:00	東松島市コミュニティセンター	28
平成30年2月17日(土)	10:00～12:00	野蒜市民センター	23
平成30年2月17日(土)	14:00～16:00	小野市民センター	25
平成30年2月18日(日)	10:00～12:00	矢本東市民センター	26
平成30年2月18日(日)	14:00～16:00	矢本東市民センター	24
合計			250

※平成29年度 11回開催 延参加人数250名

(6) いきいきゆったり交流事業

仮設住宅住民を対象に、孤立感の解消や軽減を図ることを目的に実施した。

■応急仮設住宅高齢者交流事業

[実施日] 平成29年5月18日(木)

[場所] 気仙沼方面 気仙沼プラザホテル他

[内容] 日帰り旅行を通じた交流

[参加の状況] 51人(矢本東5人、矢本西7人、鳴瀬39人)

(7) 高校生ボランティア創出事業

福祉教育プログラムで高校生の新たな役割を創出することを目的とし、高校生が地域に関わる場をすることにより、地域社会への理解を深める。地域の一員として、地域社会について考える場をつくる。

(単位:人)

日付	内容	場所	参加学生 (延べ)	参加 住民
平成29年 4月23日(日)	あおい地区春まつりボランティア活動	あおい地区	5	300
5月17日(月)	ボランティアについての説明会	石巻西高校	28	
5月27日(土)	えがお富士見交流会高校生参加	ひびき工業団地 仮設住宅	3	40
6月7日(水)	7月高校生生活動企画会議	石巻西高校	16	

7月15日(土)	あおい西集会所にて高校生カフェ開催 (栃木県日光市の高校生と協働)	あおい地区	33	30
7月16日(日)	月浜集会所にて高校生カフェ開催 (栃木県日光市の高校生と協働)	宮戸・月浜	35	30
9月7日(木)	9月高校生活動企画会議	石巻西高校	5	
9月23日(土)	栃木県日光市にて地域活動に参加・研修 (栃木県日光市の高校生と協働)	栃木県日光市	20	5
9月24日(日)	栃木県日光市にて情報交換会・フィールドワークの実施 (栃木県日光市の高校生と協働)	栃木県日光市	18	
11月1日(水)	12月高校生活動企画会議	石巻西高校	9	
12月16日(土)	あおい地区イルミネーション点灯イベント手伝い (栃木県日光市の高校生と協働)	あおい地区	24	100
12月17日(日)	月浜集会所にて高校生カフェ開催 (栃木県日光市の高校生と協働)	宮戸・月浜	25	30
平成30年 3月22日(木)	平成29年度総括・次年度活動についての会議	石巻西高校	18	

◆高校生による活動・交流会 8回開催 ◆企画会議 5回実施

◆参加人数(延べ人数) 参加学生239人 参加住民535人

(8) 仮設住宅地域コミュニティ復興支援事業

応急仮設住宅に入居する住民により構成された自治会等が行うコミュニティ活動や仮設住宅集会所及び災害公営住宅集会所等の良好な生活環境を保持するために要する経費を申請のあった自治会に交付した。

◆平成29年度交付実績

NO.	自治会名	交付金額(円)
1	グリーンタウンやもと①仮設ひまわりコミュニティ	90,600
2	グリーンタウンやもと②③仮設あおぞらコミュニティ	133,000
3	矢本運動公園仮設住宅入居者の会	30,000
4	ひびき工業団地仮設住宅 ひびきコミュニティ	154,000
5	根古地区センター運動場仮設住宅自治会	85,800
6	上北谷地地区仮設住宅自治会	50,000
7	あおい一丁目地区自治会	400,000
8	野蒜ヶ丘一丁目自治会	400,000
9	野蒜ヶ丘二丁目自治会	400,000
10	野蒜ヶ丘三丁目自治会	400,000
合 計		2,143,400

(9) 被災者法律相談強化事業

被災者が抱える生活上の法的課題に対し、解決に向けた助言を与えることができるよう、顧問弁護士を配置し、多様で複雑な生活課題(多重債務や生活困窮、権利擁護、その他家族関係等)に対するサポートセンターの相談支援機能の強化を図った。

〔実施状況〕 地域福祉連絡会議への参加：毎月1回

個別支援に関する法律相談：随時

(10) 復興支援ボランティア団体情報共有化事業

市内のボランティア団体や市内外の復興支援関係団体との情報共有を図った。

(平成29年度登録団体：24団体)。

開催日	参加団体数	開催日	参加団体数
平成29年 5月24日	15	11月22日	11
7月19日	10	平成30年 1月24日	10
9月27日	11	3月28日	13
開催回数合計 6回 / 参加団体延数 70団体			

(11) 復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣

福祉制度の支援対象とならない困りごとに対するボランティアの支援をコーディネートすることにより、被災者が安定した生活が送れるよう、仮設団地等へボランティアの受入れ・派遣調整を行った。

◆県内外の団体から支援の申し出があったものを本会や仮設団地自治会等で受入れ調整

月	受入件数	活動人数 (ボランティア数)	参加住民人数
平成29年4月	21件	257人	613人
5月	22件	152人	522人
6月	19件	83人	201人
7月	12件	114人	136人
8月	9件	293人	8,172人
9月	4件	19人	70人
10月	5件	49人	3,460人
11月	5件	18人	124人
12月	8件	99人	383人
平成30年1月	6件	26人	182人
2月	2件	6人	50人
3月	9件	22人	141人
合計	122件	1,138人	14,054人

◆ア. 上記のうち、自治体の依頼により研修として受け入れしたもの

団体名	兵庫県新任職員被災地ボランティア		
受入日	受入人数	内 容	
6月29日	17人	災害公営住宅内清掃(8件)、意見交換会	

◆イ. 上記のうち、公益財団法人味の素ファウンデーションの主催により集団移転地等で料理教室を通じた交流事業を実施したもの

年月	開催数	参加合計人数
平成29年4月	3会場	57人
5月	4会場	51人
6月	4会場	64人
7月	3会場	41人
8月	4会場	57人

9月	3会場	40人
10月	3会場	60人
11月	4会場	104人
12月	3会場	65人
平成30年1月	4会場	62人
2月	2会場	50人
3月	4会場	53人
合計	41会場	704人

- ◆ウ.上記のうち、新生銀行グループ有志の主催により津波浸水地域や災害公営住宅等で交流会を開催した他、バリューザホテル矢本にて市民を対象としたクリスマスコンサートを開催したもの。

■地域住民との交流会

開催日時	場所	参加住民数	ボランティア人数
平成30年12月2日(土)	小松南住宅集会所	28人	8人
平成30年12月2日(土)	亀岡地区センター	15人	7人

■クリスマスコンサートの開催

[開催日] 平成29年12月3日(日)
 [場 所] バリューザホテル東松島矢本
 [参加人数] 141人
 [ボランティア・出演者合計人数] 20人

(12) 先進地視察研修

[視察日] 平成29年10月16日(月)～18日(水)
 [視察先] 岩手県内市町社会福祉協議会(洋野町、久慈市、盛岡市)
 [内 容] 「被災者支援から地域福祉へ」の事業転換に係る支え合い推進事業
 [参加者] 海道会長、阿部常務ほか職員6人

(13) その他

■各種連絡調整会議

※情報共有に関する団体間や職員間の打合せ、住民の抱える問題を解決する為のケース会議等の開催状況。

月	開催数	参加人数	月	開催数	参加人数
4	13回	109人	10	12回	132人
5	19回	195人	11	13回	74人
6	11回	70人	12	8回	73人
7	8回	60人	1	4回	31人
8	13回	102人	2	16回	100人
9	11回	128人	3	10回	70人
			計		1,144人

■地域福祉連絡会議

[目 的] 東松島市における被災者(主に仮設住宅や災害公営住宅入居者)支援に関わる社会福祉協議会の各担当者及び関係機関が、相談内容等を共有し連携して関わることに

より支援体制の強化を図った。

〔参加者〕生活復興支援センター所長、統括責任者、CSW、LSA、地域包括支援センター、くらし安心サポートセンター、齋藤智弁護士、市福祉課、県社会福祉協議会等
〔開催状況〕毎月1回

⑤地域包括支援センター事業拠点区分

1. 地域包括支援センター事業（東松島市受託事業）

〔介護予防事業〕

（1）介護予防ケアマネジメント業務

①介護予防・生活支援サービス（はつらつ運動教室）事業対象者把握及びケアプラン作成

- ・はつらつ運動教室への参加申し込みを行った 14 名に対して、訪問により対象者把握を行った。

運動教室参加者 8 人

参加できなかった方 6 人

（参加できなかった理由）

- ・歩行不安定、集団での運動に不安がある。
- ・術後で体力が回復していない。
- ・介護保険サービスを利用することとなった。
- ・プールでの運動が不安。
- ・術後で治療とリハビリを受けている。運動についていけるか不安。
- ・家庭の事情で参加できなくなった。

②総合事業対象者のケアプラン作成

包括担当件数 16 件

委託件数 7 件

（2）総合相談支援業務

①初期段階での相談対応

②専門的・継続的な支援

上記の対応として、相談者件数 1,116 件 月平均 93 件

■利用者件数 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

利用法	来所	電話	書面	訪問	その他
件数	287	716	26	38	49

■相談者内訳

	本人	家族 (別居も含む)	民生委員	介護支援専門員	市役所	その他
件数	90	343	81	151	144	307

■相談内容内訳

内容	虐待の疑い	多問題	福祉	成年後見人制度
件数	39	4	82	9
内容	認知症の相談	介護サービス に関すること	その他	
件数	107	474	401	

■センター対応の内訳

	一般的な情報提供	地域資源の紹介	継続的な関与	関係機関へ連絡
件数	243	10	170	88
	介護認定申請受付	実態把握	予防給付対応	その他
件数	18	225	91	271

(3) 権利擁護業務

(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

内 容	実件数	内訳など
成年後見制度の活用促進	4 件	制度活用の判断、内容や手続きの説明
成年後見制度の啓発活動	3 件	参加人数 93 人
老人福祉施設等への措置の支援	0 件	
高齢者虐待への対応	47 件	虐待でないと判断した事例 21 件 虐待判断事例 25 件 ・身体的虐待 15 件 ・心理的虐待 1 件 ・経済的虐待 0 件 ・介護放棄 0 件 虐待の種別・類型の合計 16 件
困難事例への対応	3 件	アルコール問題、認知症やアルコールによる精神症状の悪化、高齢で知的レベルが低い方への支援など
消費者被害の防止	3 件	消費生活センターの紹介 2 件 消費生活センターからの情報提供 1 件

(注) 虐待の種別・類型には重複があるため、合計 16 件は、虐待判断事例総数 25 件と一致しない。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

①包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に向けた取り組み

主治医と介護支援専門員との連携をはじめ、他の様々な職種との協働や地域の関係機関との連携を図っている。

②介護支援専門員に対する個別支援

1) 予防プラン作成支援件数 延べ件数 406 件

予防プランを委託している居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、予防プランのチェックに来た際（新規プラン作成時、更新プラン作成時、区分変更時、課題に変更があった時）に、作成についての支援も随時行っている。

2) 介護支援専門員連絡会議

ア) 事例検討会：3回 延べ参加人数 41人

実務5年未満の介護支援専門員を対象に、アセスメントの考え方を学ぶもの。

イ) 全体研修会：1回 参加人数 19人

アセスメント研修会 講師：NPO法人 ふくし@JMI 小湊純一氏

(5) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

地域ケア会議開催 — 17件

個別ケース会議 — 15件

行政職員、センター職員、介護サービス事業者、医療関係者、民生委員、専門機関職員等から構成される会議体をいう。多職種協働のもと、フォーマルのみならずインフォーマルな資源やサービスも活用しながら個別ケースの支援内容の検討を行っている。

地域ケア会議については、毎月各居宅介護支援事業所のケアマネジャーより事例提供してもらい、講師の助言を頂きながら開催した。

〔介護予防事業及び任意事業〕

(1) 住宅改修相談業務 23件

(2) 福祉用具購入相談業務 9件

(3) サービスの利用申請手続きの代行業務 随時対応

(4) 地域介護予防活動支援業務

①いきいき百歳体操の立ち上げ

48会場 年間延べ回数 116回 年間延べ参加人数 1,772人

	地区及び会場	回数	参加人数
1	南三区・南区東地区センター	4回	42人
2	大溜・センターハウス	3回	48人
3	小野下・小野地区センター	3回	40人
4	中下・中下地区センター	1回	12人
5	小野上・小野地区センター	3回	37人
6	亀岡・亀岡地区センター	4回	40人
7	上納・上納地区センター	3回	50人
8	あおい二丁目・二丁目地区センター	2回	37人
9	里浜・里浜地区センター	4回	56人
10	往還下・小野駅前東集会所	3回	39人
11	貝田・大曲地区センター	3回	32人
12	平岡・平岡地区センター	2回	35人
13	小松南・小松南地区センター	5回	57人
14	川下・川下地区センター	2回	14人
15	作田浦・矢本東市民センター	3回	66人
16	川前・南区東地区センター	2回	25人
17	南五区・南区西地区センター	4回	48人
18	南新町・南区新町地区センター	2回	20人

19	河戸・矢本西市民センター	1回	22人
20	三角公園・上町西地区センター	2回	28人
21	前里・前里地区センター	4回	100人
22	柳西・南区東地区センター	4回	58人
23	根古・根古地区センター	1回	4人
24	下小松・下小松地区センター	1回	14人
25	関の内・関の内地区センター	3回	52人
26	下町・下町地区センター	2回	23人
27	南区・南区西地区センター	5回	71人
28	二反走・二反走集会所	3回	81人
29	野蒜ヶ丘三丁目・野蒜ヶ丘西部集会所	4回	71人
30	室浜・室浜地区センター	2回	25人
31	あおい一丁目・あおい西集会所	1回	13人
32	東名・東名ふれあいセンター	4回	51人
33	大浜台・大浜地区センター	2回	20人
34	大塚・大塚地区センター	2回	28人
35	西福田・西福田下地区センター	2回	42人
36	鹿妻・鹿妻地区センター	2回	34人
37	野蒜ヶ丘二丁目・野蒜ヶ丘中央集会所	3回	71人
38	あおい三丁目・三丁目地区センター	2回	35人
39	小松台・小松台地区センター	2回	48人
40	四反走・四反走地区センター	3回	55人
41	浅井・浅井地区センター	1回	6人
42	赤井下・赤井下地区センター	1回	24人
43	大塩・大塩市民センター	1回	22人
44	上町・上町東地区センター	1回	11人
45	下町・南浦地区センター	1回	24人
46	赤井中区・赤井中区地区センター	1回	27人
47	野蒜ヶ丘一丁目・野蒜市民センター	1回	7人
48	赤井・て・あて	1回	7人

②地域活動支援業務

年間延べ回数 54 回 年間延べ参加人数 1,045 人

開催日	対象団体	内容	参加者数	担当者
5月10日(水)	いきいき楽習塾打ち合わせ	年間活動内容について	33人	小山
5月13日(土)	仙台鳴瀬サロン	年相応のものわすれと軽度認知障害について	17人	浅見
5月19日(金)	浅井サロン	年相応のもの忘れ、集中力と記憶力のアクティビティ	17人	浅見
6月6日(火)	JA 高齢者向け講演	健康講話 (口腔)	70人	所長
6月7日(水)	南区西サロン	認知症講話	16人	浅見
〃	裏沢いきいきほっと塾	健康講話	14人	所長

		(熱中症)		
6月9日(金)	塩入老人クラブ	健康講話 (熱中症)	6人	小山
6月12日(月)	上町長生会	健康講話 (熱中症)	10人	小山
6月13日(火)	燦々学級	認知症講話と寸劇	35人	加来
6月14日(水)	牛網地区お茶っこ会	健康講話 (熱中症)	28人	小山
6月15日(木)	若葉地区お茶会	認知症予防と地域での支 え合いについて	30人	小山 加来
6月21日(水)	横沼地区交流会	認知症講話	22人	浅見
6月27日(水)	東名お茶会	健康講話 (熱中症)	20人	小山
7月5日(水)	東大溜婦人部	年相応のもの忘れとは	28人	浅見
7月12日(水)	西福田上サロン	年相応のもの忘れとは	7人	浅見
7月13日(木)	晴れ晴れ塾	年相応のもの忘れとは	30人	浅見
7月28日(金)	すこやかクラブ	年相応のもの忘れとは	26人	浅見
8月9日(水)	いきいき楽習塾	年相応のもの忘れとは	26人	浅見
8月22日(火)	川下サロン	介護予防体操、健康講 話(熱中症)	13人	小山
9月6日(水)	裏沢サロン	年相応のもの忘れとは	22人	浅見
9月15日(金)	鹿妻サロン	年相応のもの忘れとは	19人	浅見
10月10日(火)	塩入老人クラブ	健康講話	8人	小山
10月19日(木)	下浦自治会	年相応のもの忘れとは	9人	浅見
〃	上河戸一区サルビア会	年相応のもの忘れとは	19人	小山
11月6日(月)	下町四区お茶会	健康講話	17人	小山
11月15日(水)	赤井市民センター「もの忘れ教室」	年相応のもの忘れとは	23人	浅見
11月21日(火)	いきいきほっとサロン	健康講話	11人	所長
12月1日(金)	いきいきほっとサロン	健康講話(食事のコツ)	13人	小山
12月4日(月)	下町四区お茶会	健康講話(運動)	17人	小山
12月8日(金)	関の内サロン	年相応のもの忘れとは	21人	浅見
12月15日(金)	赤井中区サロン	年相応のもの忘れとは	24人	浅見
12月20日(水)	南区サロン	健康講話	11人	所長
1月15日(月)	下町四区お茶会	健康講話(肺炎予防、 軽体操)	13人	小山
1月22日(月)	大溜健康づくり教室	もう年なんだから面白 がろう	24人	浅見
1月24日(水)	シニア倶楽部	もの忘れ予防について	30人	浅見
〃	西福田サロン	健康講話(バランスの とれた食事)	8人	所長
1月26日(金)	いきいき学級	年相応のもの忘れとは	16人	浅見
1月29日(月)	作田浦いきいき百歳体操	包括の認知症事業と成	20人	加来

		年後見制度について		
2月1日(木)	105ピンピン体操の会	年相応のもの忘れとは	20人	浅見
2月2日(金)	小野サロン	年相応のもの忘れとは	22人	所長 浅見
2月6日(火)	小野いきいき百歳体操	もの忘れと認知症について	13人	小山
2月7日(水)	大溜ぽっぽクラブ	年相応のもの忘れとは	15人	浅見
2月9日(金)	横沼自治会健康教室	ボール体操	20人	所長
2月14日(水)	なごみ会	年相応のもの忘れとは	20人	浅見
2月15日(木)	サルビア会	脳活性レク	17人	加来
2月20日(火)	五味倉自治会お茶会	ストレッチ、ボール体操	14人	小山
2月21日(木)	下町一区	年相応のもの忘れとは	17人	浅見
2月22日(木)	西福田下サロン	年相応のもの忘れとは	4人	浅見
2月23日(金)	関の内いきいきほっとサロン	健康講話(バランスのいい食事のとり方のコツ)	22人	小山
3月5日(月)	下町四区お茶会	認知症のもの忘れと年相応のもの忘れについて	8人	小山
3月6日(火)	塩入老人クラブ	運動について	8人	小山
3月9日(金)	平岡いきいきほっとサロン	健康に過ごすための食事のとり方のコツ	15人	小山
3月26日(月)	南新町月曜サロン	年相応のもの忘れとは	30人	浅見
3月28日(水)	えがお会健康教育	認知症予防について	27人	所長

〔指定介護予防支援〕

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 予防給付に関するケアマネジメント業務 | 248 件 |
| (2) 指定介護予防支援業務の委託 | 415 件 |

〔認知症対策事業〕

(1) 東松島市キャラバン・メイト協議会の支援

認知症サポーター養成講座の講師役として登録している市内のメイトが地域で活動が行えるように、会員同士のネットワークや情報交換の場づくり、スキルアップのための研修会を開催し事務局として支援を行った。

開催日	内 容	参加者数
4月20日(木)	総会	メイト11人
5月26日(金)	研修会「小中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の内容について」 講師：三峰病院 遠藤 眞氏	メイト6人
9月14日(木)	研修会「なぜ、講話で参加者を惹きつけることが大切なのか」 講師：臨床心理士 浅見 大紀氏	メイト6人

(2) 認知症サポーター養成事業

①認知症サポーター養成講座

講座開催総数 17回 (対象：一般12回、職域3回、学校2回)

年間延べ 認知症サポーター数 318人、 実働メイト数 18人

	日時	受講団体	実施場所	担当者	サポーター数
1	6月22日	赤井南小学校4年生	赤井南小学校	木村、加来	31人
2	7月18日	大塩小学校6年生	大塩小学校	加来	32人
3	7月24日	一般市民	矢本西市民センター	木村	6人
4	8月8日	ふまねっと参加者	大曲市民センター	加来	16人
5	8月22日	一般住民	宮戸市民センター	木村	1人
6	9月20日	一般住民	野蒜市民センター	加来	1人
7	11月9日	ふまねっと参加者	あおい地区集会所	加来	31人
8	11月20日	一般住民	大曲市民センター	加来	8人
9	11月26日	西福田自治会	西福田地区センター	加来	32人
10	12月5日	市役所職員	本庁舎会議室	加来	32人
11	12月20日	一般住民	矢本東市民センター	木村	4人
12	1月17日	市役所職員	鳴瀬庁舎会議室	木村、加来	43人
13	1月23日	一般住民	小野市民センター	加来	3人
14	2月20日	大溜自治会婦人部	大溜地区センター	加来	22人
15	2月22日	一般住民	大塩市民センター	木村	4人
16	3月19日	矢本愛育会	矢本華の園	木村、加来	48人
17	3月24日	一般住民	老人福祉センター	加来	4人

②認知症サポータースキルアップ研修会

認知症サポーター養成講座を受講した認知症サポーターに研修会を開催した。

実施日	内 容	参加者数
平成30年2月9日(金)	・見守りのスキルとは ・認知症について知識の復習 ・認知症で不安になる理由とは ・関わり方を学ぶ 講師：浅見 大紀氏	12人
3月7日(水)	・見守りのスキルとは ・認知症について知識の復習 ・認知症で不安になる理由とは ・関わり方を学ぶ 講師：浅見 大紀氏	21人

③サポーター啓発の為のマスコット作成

認知症サポーターマスコット（親ロバ、子ロバ）の作成協力者を募り、作成していただいたマスコットは、小学校での認知症サポーター養成講座において、小学生へ配布し、認知症サポーター養成講座の普及啓発に努めた。

（３）認知症家族の情報交換会

認知症の方を介護している当事者同士で悩みを相談し、交流を行うことで孤立防止や介護負担の軽減が図れるために、定期的開催した。

（開催日時）奇数月第３金曜日・偶数月第３月曜日、１０時００分～１２時００分

（場所）老人福祉センター

年間延べ参加人数 ８５人

開催日	参加者数（うち当事者数）
５月１９日（金）	８人（３人）
６月１９日（月）	８人（２人）
７月２１日（金）	７人（３人）
８月２１日（月）	６人（２人）
９月１５日（金）	６人（２人）
１０月１６日（月）	６人（２人）
１１月１７日（金）	４人（１人）
１２月１８日（月）	５人（１人）
平成３０年１月１９日（金）	４人（０人）
２月１９日（月）	６人（１人）
３月１６日（金）	３人（０人）

（４）認知症専門相談会

講師 医療法人有恒会 こだまホスピタル 進藤克博医師

開催日	相談件数
７月２７日（木）	６件（包括相談４件）
１０月２６日（木）	５件
平成３０年２月８日（木）	４件（包括相談のみ）

（相談結果の例）

- ・デイサービス利用をすすめた。
- ・対応についての助言を頂いた。

（５）東松島市高齢者 SOS ネットワーク

認知症家族の情報交換会や総合相談、地域へ出向いた時などに、ネットワーク事業についての PR の場をもっている。

（６）認知症はじめて教室

認知症の診断を受けた人とその家族を対象に、認知症やそれに関連する知識の情報提供を行い、本人や家族の不安を軽減し、家族の介護負担の軽減を図るため開催した。

（開催日時）毎月第３土曜日、１４時００分～１６時００分

開催日	会場	内容	参加者数	担当者
5月20日	矢本東市民センター	認知症についての基礎知識	4人	小山 浅見
6月17日	小野市民センター	認知症の勉強	1人	木村 浅見
7月15日	大塩市民センター	実施なし	0人	加来 浅見
8月19日	矢本西市民センター	もの忘れと認知症に関する話	1人	小山 浅見
9月16日	宮戸市民センター	実施なし	0人	小山 浅見
10月21日	野蒜市民センター	実施なし	0人	浅見
11月18日	赤井市民センター	個別相談	1人	浅見
12月16日	大曲市民センター	実施なし	0人	浅見

(7) 若年性認知症を抱える人とその家族のつどい「ほっとする会」

若年性認知症を抱える人とその家族が集まり、気持ちや日常生活上の変え、情報などを共有できる場として開催した。

(開催日時) 毎月第3土曜日、10時00分から12時00分

(場所) 老人福祉センター

(対象) 若年性認知症を抱える人とその家族

(内容) ストレッチ、頭と体のアクティビティ、認知症に関するミニ講話、お茶会

開催日	参加者数	担当者	協力者・ボランティア
5月20日	6人	小山、浅見	奥田ケアマネ
6月17日	6人	木村、浅見	奥田ケアマネ
7月15日	6人	加来、浅見	奥田ケアマネ、佐藤さん
8月19日	5人	小山、浅見	佐藤さん
9月16日	8人	小山、浅見	戸澤さん、いずみの杜白戸さん
10月21日	6人	木村、浅見	佐藤さん、いずみの杜白戸さん
11月18日	2人	加来、浅見	
12月16日	5人	小山、浅見	奥田ケアマネ、佐藤さん
1月20日	7人	木村、浅見	奥田ケアマネ、佐藤さん
2月17日	7人	加来、浅見	佐藤さん
3月17日	5人	小山、浅見	佐藤さん

(8) 認知症カフェ

認知症の人とその家族が地域の人や専門家と情報共有し、お互いを理解し合い、地域で安心して暮らせるために定期的に開催した。

(開催日時) 毎月第2水曜日、10時00分～11時30分

(場所) ゆふと1階・キッチンクラブ カノン

開催日	参加者数
6月14日	9人
7月12日	9人
8月9日	3人
10月11日	2人

平成 30 年 1 月 10 日	3 人
2 月 14 日	3 人
3 月 14 日	2 人

(9) 物忘れ予防教室

もの忘れを気にしている高齢者を対象にアクティビティを行ったり、認知症をはじめ心身の健康について学んだりできる居場所を提供し、予防を含めた認知症への意識を高めるために開催した。前年度 1、2 クール開催し、29 年度は 3～5 クールを開催している。(1 クール月 2 回で 4 ヶ月開催) フォローアップ教室も開催した。

参加延べ人数 537 人

開催日	開催回数	参加者数
3 クール (4 月～7 月)	7 回	203 人
4 クール (8 月～11 月)	7 回	65 人
5 クール (12 月～3 月)	7 回	113 人
フォローアップ教室 (4 月～3 月)	12 回	156 人

(10) 介護家族教室

家族が介護の知識を学び、介護者の孤立防止、介護者の気分転換が図れるために開催した。市内の社会福祉法人の専門職の協力を頂き、調理実習を開催した。

- ・第 1 回 講師：特別養護老人ホーム赤井の里 加藤管理栄養士、桜井調理員、今野看護師、木村介護員
- ・第 2 回 講師：はまなすの里 伊藤副施設長、千葉栄養士、尾形氏、阿部氏、菅原氏
- ・第 3 回 講師：矢本華の園 高橋施設長、藤田相談員、栄養士 2 人

開催日	内容	参加者数
8 月 24 日 (木)	飲み込みやすい料理の調理実習 口腔ケアと誤嚥時の対処方法	9 人
12 月 7 日 (木)	認知症の人への関わり方 調理と口腔体操 食事と栄養について講話	6 人
平成 30 年 2 月 27 日 (火)	調理実習 認知症高齢者への声かけの仕方	2 人